

福島県 田村市

(基本方針)

- インフラ等の復旧については、帰還に向けて必要な社会基盤で、早急に応急的な対応をしなければならないが、道路や農業用水施設の災害復旧事業については、平成24年度でほぼ整備が完了した。電気や上水道は震災当時から大きな被害はなく、その他のインフラについても、早急に整備が必要な事業はない。

(復旧の概況)

- 生活に必要な道路・上下水道等のインフラは復旧済み。
- 旧緊急時避難準備区域内の都路行政局は平成23年9月12日より業務を再開している。市役所本庁は、平成26年1月5日から新庁舎(田村市船引町船引字畑添76番地2)に移転した。また、医療施設については、都路診療所・歯科診療所とも、平成23年7月12日から通常どおり診療業務を再開している。

様式2「工程表」

インフラ復旧の工程表(福島県田村市)

令和4年3月末現在

●→ : 工事が完了したもの ●.....▶ : 工事が現時点で進捗がいないもの

| 事業 | 実施主体 | 被災/稼働状況 | R3年度の目標 (R3.9.10公表) | R3年度に実施 したこと(成果) | R4年度に実施 すること(目標) | R4年度 | | R5年度 | | R6年度 | | R7年度以降 | | 備考・ポイント等 |
|-----------------|---------------|--|------------------------|---------------------|---------------------|------|----|------|----|------|----|--------|----|---|
| | | | | | | 4月 | 7月 | 10月 | 1月 | 4月 | 7月 | 10月 | 1月 | |
| 道路 | | | | | | | | | | | | | | |
| 磐城自動車道 | 東北高速 道路株・市 | 供用中 | | | | | | | | | | | | |
| 柳井町の生活道路30路線 | 市 | - | | | | | | | | | | | | H31.3.17 田村スマーインター供用開始 |
| 市道 小沢沢線 | 市 | 災害復旧事業 | | | | | | | | | | | | 平成26年度中に舗装工事が完了 |
| 農地・農業用施設 | | | | | | | | | | | | | | |
| 農業用水 | 市 | 古道地区内 水路15カ所 水路前落 | | | | | | | | | | | | 市予費で復旧 平成24年度中に復旧工事が完了 |
| 農道 | 市 | 古道地区内 農道の4カ所 道路舗装 | | | | | | | | | | | | 市予費で復旧 平成24年度中に復旧工事が完了 |
| 林道 | | | | | | | | | | | | | | |
| 林道 合子線 | 市 | 踏道の前落 | | | | | | | | | | | | 平成25年3月に復旧を完了 平成27年3月に除染工事を完了 |
| 文教施設 | | | | | | | | | | | | | | |
| 柳井小こども園 | 市 | 修繕は完了。 | | | | | | | | | | | | 平成25年度中に除染を完了 平成25年度まで旧警戒区域外の廃校にて 運営 平成26年4月から柳井町内で再開 |
| 岩井沢幼稚園 | 市 | 施設再開を前提とした 修繕箇所の手当は未実施 | | | | | | | | | | | | 平成24年度中に除染を完了 平成25年度まで旧警戒区域外の廃校にて 運営 平成28年度をもって再開 |
| 岩井沢小学校 | 市 | 地震により、校舎、設備が損壊 | | | | | | | | | | | | 平成24年度中に除染を完了 平成25年度まで旧警戒区域外の廃校にて 運営 平成26年4月から柳井町内で再開 平成29年4月から古道小と統合 |
| 古道小学校 | 市 | 校舎等が損壊。 校庭の土砂崩れは 復旧工事完了。 岩井沢小学校と統合し 柳井小学校として開校 | | | | | | | | | | | | 平成25年度中に除染を完了 平成25年度まで旧警戒区域外の廃校にて 運営 平成26年4月から柳井町内で再開 平成29年4月から岩井沢小と統合し 柳井小学校として開校 |
| 柳井中学校 | 市 | 校舎等が損壊。 校庭の土砂崩れは 平成24年7月に復旧工事完了。 | | | | | | | | | | | | 平成26年4月に除染を完了 平成25年度まで旧警戒区域外の廃校にて 運営 平成26年4月から柳井町内で再開 |
| 福祉施設 | | | | | | | | | | | | | | |
| 岩井沢児童館 | 市 | 浄化槽の修繕が必要 | | | | | | | | | | | | 平成24年度中に除染を完了 平成24年度中に浄化槽の修繕を完了。平成 25年度中にその他の修繕も完了 平成25年度まで旧警戒区域外の廃校にて 運営 平成26年4月から柳井町内で再開 |

田村市のインフラ復旧状況（令和3年度末現在）

| 工 種 | 復旧の状況 | 内 容 | (参考) 事業完了時期 |
|---------------|-------------------------|---|----------------|
| 道路 (市町村管理) | ◎ 復旧完了 (平成 26 年度) | | 平成 26 年度 |
| 河川 | | 該当なし | |
| 漁港 | | 該当なし | |
| 海岸 | | 該当なし | |
| 防災林 | | 該当なし | |
| 上水道 | ◎ 復旧完了 (平成 23 年度) | | 平成 23 年度 |
| 下水道 | ◎ 復旧完了 (平成 23 年度) | | 平成 23 年度 |
| 農地・ 農業用施設 | ◎ 復旧完了 (平成 24 年度) | | 平成 24 年度 |
| 公共施設 | ◎ | [復旧済]都路行政局・都路公民館 | 平成 23 年度 |
| 医療福祉施設 | ◎ | [復旧済]都路診療所・歯科診療所 | 平成 23 年度 |
| 文教施設 | ◎ | [復旧済]都路こども園・岩井沢幼稚園・岩井沢小学校・ 古道小学校・都路中学校 | 平成 26 年度 |
| 福祉施設 | ◎ | 岩井沢児童館 | 平成 26 年度 |
| 観光施設 | ◎ | [復旧済]グリーンパーク都路・仙台平キャンプ場・ こどもの国ムシムシランド | 平成 25 年度 |
| 住宅 | ◎ | [建設済]公的賃貸住宅（12 戸） | 平成 28 年度 |
| 除染 | ◎ | [実施済] 面的除染が完了 | 平成 25 年 6 月 |
| 廃棄物処理 | ◎ | ・被災家屋等(19 件)の解体実施済 ・既存の焼却施設において可燃性の解体廃棄物を処理済 | 平成 29 年 5 月 |

【凡例】◎：復旧済・機能回復済、○：復旧中・建設中、△：調査計画中、▽：未着手、—：該当なし、被災なし

福島県 南相馬市（旧避難指示区域）

（基本方針）

- 南相馬市の旧避難指示区域におけるインフラは、住民が帰還して生活するうえで必要な水道、下水道、主要な道路等の公共インフラ及び小中学校や生涯学習センター、スポーツ施設等の公共施設を含めて、復旧を進める。
- 「旧避難指示区域の復興なくして南相馬市の復興なし」という認識のもと、平成28年7月12日に避難指示が解除された旧避難指示区域（帰還困難区域を除く）の再生を図る。
- 旧避難指示区域における津波被災区域の農地については、ほ場整備事業等を含めた土地利用が明確になり次第、順次整備を進める。

（復旧の概況）

- 生活に必須となる道路・上下水道等のインフラについては、復旧作業は終了している。なお、農地・農業用施設の災害査定は終了し、復旧工事を実施中である。
- 医療福祉施設や市役所（区役所を含む）、集会施設など住民の生活環境やコミュニティ復活につながるインフラについても概ね復旧は終わり利用が可能な状態になっている。また、小高小中学校などの文教施設は再開済である。加えて、小高区復興拠点施設（小高交流センター）と小高区子どもの遊び場（NIKOパーク）が開所、おだか認定こども園が開園した。
- 帰還困難区域を除く旧避難指示区域内の本格的な生活再建に向けて、公設商業施設（小高ストア）を整備したほか、公共交通の確保や調剤薬局への支援などを実施中である。
- 令和4年3月31日現在の旧避難指示区域の居住人口は、住民登録人口の59.1パーセントに当たる4,338人となっている。

| 事業 | 整備主体 | 被災/被害状況 | R3年度の目標 (R3.9.10公表) | R3年度に実施 したこと(概要) | R4年度に実施 すること(目標) | R4年度 | | | R5年度 | | | R6年度 | | | R7年度以降 | 備考・ポイント等 | |
|---------------------------------|------|---|---|---|---|------|----|-----|------|----|----|------|----|----|--------|--------------------|---|
| | | | | | | 4月 | 7月 | 10月 | 1月 | 4月 | 7月 | 10月 | 1月 | 4月 | | | 7月 |
| 医療施設(公営) | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 南相馬市立総合病院付属 小高診療所 (旧小高病院) | 市 | 施設修繕工事(外構、設備記 管等)等が必要 | 令和3年12月開所予定 | 令和3年12月16日開所 | | | | | | | | | | | | 令和3年12月開所済み | |
| 福祉施設 | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 小高老人福祉センター | 市 | 建物内外装、外溝ほか地震被害 修繕 | | | | | | | | | | | | | | 「復旧完了済」 | |
| 小高保健福祉センター | 市 | 建物内外装、外溝ほか地震被害 修繕 | | | | | | | | | | | | | | 「復旧完了済」 | |
| 市役所・公共施設 | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 小高区役所 | 市 | 建物被災無 周辺地震沈下 現在は復旧済 | | | | | | | | | | | | | | 「復旧完了済」 | |
| 公共交通(被災者支援) | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ジャンボタクシー運行 (旧一騎橋客等交通支援) | 市 | JR常磐線土原/馬場～いわき 駅間通過区間復旧 JR常磐線土原/馬場～浪江駅間 不通(1430)現在 ・JR常磐線浪江駅～常陸那珂駅 一ツ並位置つけた、全体的な通 代行バス運行(H29.4から) ・JR全線運転再開(R2.3.14か ら) | ジャンボタクシー車受付業 務の外部委託。 南相馬市の公共交通体系の 一つを位置つけた、全体的な通 行形態の検討を進める。 | 利用状況に応じたダイヤ改正 (令和3年3月1日付)、自由降 車区間の延長及び停留所の増 設 | 利用者のニーズの把握及び 利用状況に応じたダイヤの検 討 | | | | | | | | | | | ジャンボタクシーの運行ダイヤ修正検討 | |
| 除染 | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 先行除染 | 国 | 小高庁舎、消防署、 上下水道施設及び駐在所の 除染実施済み | | | | | | | | | | | | | | | |
| 面的除染 | 国 | H28年4月 除染計画策定 H28年12月 特別地域内除染実施計画一部改 定 H29年3月 面内除染完了 | 必要に応じて、除染のフォロー アップを実施する。 | 除染のフォローアップの実施無 し。 | 必要に応じて、除染のフォロー アップを実施する。 | | | | | | | | | | | | 除染作業進捗により措置改定 |
| 南相馬市計画 | 市 | H29年11月 除染計画策定 除染実施計画(4/25)年度、H 26年1月、H27年3月、H28年 3月) | 除染特別地域を除く市内全域 分の仮置場を確保 | 除去土壌等の管理、中間貯蔵 施設等への輸送、原状回復を 実施した。 | 除去土壌等の管理、中間貯蔵 施設等への輸送、原状回復を 実施した。 | | | | | | | | | | | | |
| 仮置場 | 国 | 除染仮置場(10ヶ所) | 除去土壌等の管理、中間貯蔵 施設等への輸送、原状回復 | 除去土壌等の管理、中間貯蔵 施設等への輸送、原状回復 | 除去土壌等の管理、中間貯蔵 施設等への輸送、原状回復 | | | | | | | | | | | | |
| 仮置場 | 市 | 除染特別地域を除く市内全域 分の仮置場を確保 | 除去土壌等の管理、中間貯蔵 施設等への輸送、原状回復・ 12ヶ所の仮置場で原状回復・ 10ヶ所の返還(1ヶ所は市有 年度返還) | 除去土壌の中間貯蔵施設へ の輸送完了 11ヶ所の仮置場で原状回復・ 3ヶ所の仮置場で原状回復・2 10ヶ所の返還(1ヶ所は市有 地) | 除去土壌等の管理、中間貯蔵 施設等への輸送、原状回復 | | | | | | | | | | | | 令和4年度完了目標 |
| 災害廃棄物処理 | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 対策地域内廃棄物処理 | 国 | (仮設焼却施設) 稼働終了 | | | | | | | | | | | | | | | 当初、平成29年度までとしていた仮設焼却 施設の事業計画を令和2年度までに延長。 |

南相馬市のインフラ復旧状況（令和3年度末現在） ※帰還困難区域を除く

| 工 種 | 復旧の状況 | 内 容 | (参考) 事業完了時期 |
|------------------------|-------|---|---|
| 道路(市管理分) | ◎ | [道路] 復旧済 127箇所/被災 127箇所 [橋梁] 復旧済 5箇所/被災 5箇所 | R元年度 |
| 河川(市管理分) | ◎ | [復旧済] 準用河川小沢川(復旧済 1箇所/被災 1箇所) | H27年度 |
| 河川(県管理分) | ◎ | [復旧済] 5河川/被災 5河川 | R3年度 |
| 漁港(市管理分) | ◎ | [復旧済] 真野川漁港(復旧済 1漁港/被災 1漁港) | R元年度 |
| 漁港(県管理分) | ◎ | [復旧済] 真野川漁港(復旧済 1漁港/被災 1漁港) | H30年度 |
| 海岸 | ◎ | [農地海岸] 復旧済 7箇所/被災 7箇所 (角部内・蛭沢・棚塩・小浜零・村上・井田川/小沢) | R元年度 |
| | | [漁港海岸] 復旧済 2海岸/被災 2海岸 | H30年度 |
| | | [建設海岸] 復旧済 10海岸/被災 10海岸 | R3年度 |
| 海岸防災林 | ○ | 海岸防災林造成(133.8ha) ・植生基盤盛土工 133.28 /133.8ha ・植栽工 77.95 / 85.7ha | R4年度 |
| 上水道(津波被災地域を除く) 簡易水道 | ◎ | [復旧済] 原町上水道・小高上水道 [復旧済] 小高北部簡易水道・小高西部簡易水道 | H24・25年度 H24年度 |
| 飲料水確保施設 | ◎ | [補助終了] 井戸整備(市単独補助) | H29年度 |
| 下水道 (し尿処理含) | ◎ | [復旧済] 小高浄化センター [復旧済] 小高処理区下水道管 [復旧済] 雫浄化センター(し尿処理施設) | H25年度 H25年度 H24年度 |
| 農地・ 農業用施設 | ○ | (市) [農地] 復旧済 18箇所/被災 41箇所 (廃工予定18箇所を含む) [ため池] 復旧済 43箇所/被災 43箇所 [用排水] 復旧済 18箇所/被災 36箇所 (廃工予定13箇所を含む) [道路] 復旧済 10箇所/被災 23箇所 (廃工予定9箇所を含む) (県) [農地] 復旧済 6箇所/被災 8箇所 [排水機] 復旧済 3箇所/被災 3箇所 | (原町区) R2年度内 (小高区) R5年度内 R6年度内 H30年度内 |
| 公共施設 | ◎ | 小高区役所、小高図書館 [復旧済] 小高区就業改善センター、小高体育センター 西部運動場、中部運動場、東部運動場 | H25年度 |
| 医療福祉施設 | ◎ | 小高病院(R1.8休止、R1.10廃止) 小高診療所(R1.8開設、R3.12.16新たな診療所を開所) [復旧済] 小高老人福祉センター [復旧済] 小高保健福祉センター [復旧済] おだか保育園 | R3年度 H25年度 H27年度 H25年度 |
| 文教施設 | ◎ | [復旧済] (小学校) 小高、金房、福浦、鳩原(H29.4再開) [復旧済] (中学校) 小高(H29.4再開) [復旧済] (幼稚園) 小高(H29.4再開)、金房、福浦、鳩原 [復旧済] (その他) 埴谷・島尾記念文学資料館 | H25年度 |

| | | | |
|-------------------|---|--|----------------------------|
| | ◎ | [復旧済] (高校)小高産業技術高等学校 (H29.4 開校) | H29 年度 |
| 住宅 | ◎ | [実施済] 小高区内市営住宅 (115戸/115戸中) [建設済] 災害公営住宅 (40戸) [整備済] 移住・定住者向け住宅団地 (68区画) | H30 年度 H27 年度 H29 年度 |
| | ◎ | [整備済] (防災集団移転)住宅団地21地区の整備 [実施済] (防災集団移転)移転元地の買取り | H28 年度 H29 年度 |
| 公共交通対策 (被災者支援) | ○ | [実施中] ジャンボタクシー運行 (旧避難指示区域内等の交通弱者のための移動手段確保) | H30 年度 |
| 除染 (旧警戒区域外) | ◎ | [実施済] フォローアップ除染完了 | H29 年度 |
| 除染 (除染特別地域) | ◎ | [実施済] 面的除染が完了 | H29 年 3 月 |
| 廃棄物処理 | ◎ | ・被災家屋等 (2,634 件) の解体撤去工事を完了 ・仮設焼却施設 解体撤去完了 | R3 年 3 月 |

【凡例】◎：復旧済・機能回復済、○：復旧中・建設中、△：調査計画中、▽：未着手、—：該当なし、被災なし

福島県 川俣町

(基本方針)

- 川俣町の公共インフラで、特に山木屋地区では避難解除に伴い、道路や農業用水路、暗渠排水の復旧、文教施設や保健医療施設の復旧を最優先に、帰還の際支障のないよう取り組む。
- さらに、平成24年に策定された川俣町復興計画（平成26年7月川俣町復興計画（第2次）の一部改正）に基づき町内全域を対象に、安全が確保され、住民が安心して暮らせるまちへの復興の加速化により、マイナスからプラスへの復興を目指し、以前にも増して住民が安心して暮らせる安全なまちにしていく。

(復旧の概況)

- 川俣町は避難指示区域に指定されていた山木屋地区を含め、生活に必須となる道路等のインフラの復旧は概ね完了した。
- 医療施設や役場、学校、公民館、公営住宅などの住民の生活環境やコミュニティ復活に係る公共インフラについては、平成30年度に山木屋小・中一貫校の整備を実施し、概ね完了した。
- 令和4年度は、除染土等仮置場だった箇所の一部において、農業用水路や暗渠排水の施工を実施する予定である。

| 事業 | 整備主体 | 被災/整備状況 | R3年度の目標 (R3.9.10公表) | R3年度に整備 したこと(成果) | R4年度に整備 すること(目標) | R4年度 | | R5年度 | | R6年度 | | R7年度以降 | 備考・ポイント等 |
|------------------|------|---------------------------------|------------------------|---------------------|---------------------|------|----|------|----|------|----|--------|--|
| | | | | | | 4月 | 7月 | 10月 | 1月 | 4月 | 7月 | | |
| 災害廃棄物等処理 | | | | | | | | | | | | | |
| 対策地域内後棄物処理 | 国 | 焼却処理終了 | | | | | | | | | | | |
| 生活環境の整備 | | | | | | | | | | | | | |
| 山本郡地区内 取付選線整備 | 町 | 維持管理ができて、通行等に支障 をきたしている道路の整備 | - | | | 整備完了 | | | | | | | 平成20年度完了 |
| 山本郡地区復興拠点の整備 | | | | | | | | | | | | | |
| 商業施設 | 町 | 商業施設 | - | | | 整備完了 | | | | | | | 平成20年度第1四半期中に運営開始 平成26年7月1日商業施設オープン |

川俣町のインフラ復旧状況（令和3年度末現在）

| 工 種 | 復旧の状況 | 内 容 | (参考) 事業完了時期 |
|----------------|-----------------------|---|----------------|
| 道路 (市町村管理) | ◎ 全線通行可 (H27年度) | (復旧済 68路線 108箇所) / (被災 68路線 108箇所) | 平成27年度 |
| 河川 (市町村管理) | — | | |
| 河川 (県管理) | ◎ | (復旧済 1河川) / (被災 1河川) | 平成26年度 |
| 漁港 | | 該当なし | |
| 海岸 | | 該当なし | |
| 海岸防災林 | | 該当なし | |
| 上水道 | — | | |
| 下水道 | | | |
| 農地・ 農業用施設 | ○ | [用水路] 復旧済0地区/被災1地区(工区単位3/11) [暗渠排水] 復旧済0地区/被災1地区(工区単位0/11) [ため池] 被災なし | 令和7年度 (予定) |
| 公共施設 | ◎ | [復旧済] 役場庁舎、小神公民館 [復旧中] なし | 平成28年度 |
| 医療福祉施設 | ◎ | [復旧済] 山木屋診療所 | 平成27年度 |
| 文教施設 | ◎ | [復旧済] 山木屋小学校(小・中一貫校として整備) 山木屋幼稚園、山木屋中学校(解体) [復旧中] なし | 平成30年度 |
| 観光施設 | — | 被災なし | |
| 住宅 | ◎ | [復旧済] 山木屋地区町営住宅(1戸) | 平成30年度 |
| | ◎ | [建設済] 災害公営住宅(新中町団地)(40戸) [建設済] 災害公営住宅(壁沢団地)(80戸) | 平成28年度 |
| 除染 (除染特別地域) | ◎ | [実施済] 面的除染が完了 | 平成27年12月 |
| 廃棄物処理 | ◎ | ・被災家屋等(329件)の解体撤去工事を完了 | 平成30年11月 |

【凡例】◎：復旧済・機能回復済、○：復旧中・建設中、△：調査計画中、▽：未着手、—：該当なし、被災なし

福島県 広野町

(基本方針)

● 広野町は、平成24年3月1日には役場機能を本来の庁舎に戻して業務を再開し、平成24年3月31日には町長発令の避難指示を解除して、いち早く公共インフラの復旧や町内の除染作業等の町民の帰還に向けた生活環境整備に努めた結果、道路、水道、下水道等のインフラは復旧済または応急復旧済みであり、令和2年3月には国や県による海岸堤防や河川対策の工事も竣工し、「多重防御」による災害に強い市街地地区が整備された。

今後は広野駅東地区第二期開発区域における戸建て住宅や旧除去土壌等仮置場用地における産業団地の早期完成を目指すなど、将来にわたり継続して発展する広野町として環境整備に努める。

(復旧の概況)

- 生活に必須となる道路・上下水道等のインフラは、復旧済みまたは応急復旧済みにより、供用が可能な状態となっている。
- 役場、文教施設や医療施設など住民の生活環境インフラは復旧済みである。

→ :工程が進められるもの
 ●.....▶ :工程が現時点で見込みにくいもの

| 事業 | 整備主体 | 被災/稼働状況 | R3年度の目標 (R3.9.10公表) | R3年度に実施 したこと(成果) | R4年度に実施 すること(目標) | R5年度 | | | R6年度 | | | R7年度以降 | 備考・ポイント等 | |
|---------------------|--------|-------------------------------------|------------------------|---------------------|---------------------|------|----|-----|------|----|----|--------|----------|---|
| | | | | | | 4月 | 7月 | 10月 | 1月 | 4月 | 7月 | | | 10月 |
| 住宅 | | | | | | | | | | | | | | |
| 仮設住宅 | 県 | 新設 下浅見川応急仮設住宅 | | | | | | | | | | | | 平成24年3月完成 平成31年3月解体 |
| 仮設住宅 | 県 | 新設 下北応急仮設住宅 | | | | | | | | | | | | 平成24年3月完成 平成31年3月解体 |
| 町営住宅 | 町 | 津波により被災(全壊、流出) | | | | | | | | | | | | 津波で流出した浜田住宅は復旧しない。 |
| 災害公営住宅 | 町 | 新設 下浅見川地区(48戸) | | | | | | | | | | | | 48戸整備(集合型38戸・戸建10戸)。 平成26年9月末完成 |
| 災害公営住宅 | 町 | 新設 折木地区(14戸) | | | | | | | | | | | | 14戸整備(集合型8戸・戸建6戸)。平 成29年3月末完成 |
| 文教施設 | | | | | | | | | | | | | | |
| 広野幼稚園 | 町 | 復旧工事完了、園舎内外 の除染済み | | | | | | | | | | | | 平成24年度2学期(平成24年8月27 日)から再開 平成31年4月開園の認定こども園に 一本化 |
| 認定こども園 | 町 | 新設(平成31年4月開園) | | | | | | | | | | | | 平成31年4月の開園済み。 令和元年6月末外構工事完了。 |
| 広野小学校 | 町 | 復旧工事完了、校舎内外 の除染済み | | | | | | | | | | | | 平成24年度2学期(平成24年8月27 日)から再開 |
| 広野中学校 | 町 | 復旧工事完了、外部除染 済み | | | | | | | | | | | | 平成24年度2学期(平成24年8月27 日)から再開 |
| 共同調理場 | 町 | 復旧工事完了、校舎内外 の除染済み(広野小敷地 内) | | | | | | | | | | | | 平成24年度2学期(平成24年8月27 日)から再開 |
| 広野町公民館 | 町 | 除染済み、敷地面積復旧 工事予定 平成24年3月よ り再開 | | | | | | | | | | | | 平成24年3月から再開 |
| 福祉施設 | | | | | | | | | | | | | | |
| 広野町保育所 | 町 | 復旧工事完了、所舎内外 の除染済み | | | | | | | | | | | | 平成24年度2学期(平成24年8月27 日)から再開 平成31年4月の認定こども園の開園 に伴い、保育所建屋の解体を実施 |
| 除染 | | | | | | | | | | | | | | |
| モデル事業 | 国 | 実施済み | | | | | | | | | | | | |
| 市町村計画 | 町 | 策定済み | | | | | | | | | | | | 広野町除染計画では計画期間が平 成28年3月末までとなっている。 |
| 仮置場 | 町 | 町にて指定し、管理する | | | | | | | | | | | | 東町仮置場については、環境省、県 と調整の上、令和3年度～令和4年度 初めまでの工期とし、原形復旧工事 を行う。 |
| がれき処理 | | | | | | | | | | | | | | |
| 災害廃棄物処理 (旧警戒区域外) | 町(国代行) | 実施済み | | | | | | | | | | | | 平成27年4月から仮設減容化処理施 設運用開始。 |

広野町のインフラ復旧状況（令和3年度末現在）

| 工 種 | 復旧の状況 | 内 容 | (参考) 事業完了時期 |
|--------------------------|-------|--|----------------|
| 道路 (市町村管理) | ◎ | (復旧済 11箇所) / (被災 11箇所) | H30年度 |
| 河川 (市町村管理) | | 該当なし | |
| 河川 (県管理) | ◎ | (復旧済 3河川) / (被災 3河川) | R元年度 |
| 漁港 | | 該当なし | |
| 海岸 | ◎ | (農地海岸) 復旧済 2箇所 / 被災 2箇所 (建設海岸) 復旧済 3海岸 / 被災 3海岸 | H30年度 |
| 防災林 | | 該当なし | |
| 上水道 (双葉地方水道 企業団管理) | ○ | 津波被災地区復興 | (R4年度末) |
| 下水道 | ◎ | (復旧済 44箇所) / (被災 44箇所) | H29年度 |
| 農地・ 農業用施設 | ◎ | [農地]復旧済 [農業用水利施設]復旧済 [農道]復旧済 | H28年度 |
| 公共施設 | ◎ | [復旧済]広野町役場庁舎、広野町公民館 | H24年度 |
| 医療福祉施設 | ◎ | [機能回復]馬場医院、高野病院、広桜荘、花ぶさ苑、 新妻歯科医院 [廃業]根本医院、すずき歯科 | H24年度 |
| 文教施設 | ◎ | [復旧済]広野幼稚園、広野小学校、広野中学校、共同調理場 | H24年度 |
| 福祉施設 | ◎ | 広野保育所 | H24年度 |
| 観光施設 | — | 被災なし | |
| 住宅 | ◎ | [建設済]災害公営住宅(62戸) | H26.9 H29.3 |
| 除染 | ◎ | [実施済]面的除染が完了 | 平成28年3月 |
| 廃棄物処理 | ◎ | 災害廃棄物等処理(国代行)完了 | H29年度 |

【凡例】◎：復旧済・機能回復済、○：復旧中・建設中、△：調査計画中、▽：未着手、—：該当なし、被災なし

福島県 檜葉町

(基本方針)

- 農地・農業関連施設の整備に重点を置き、営農再開を加速化させる。
- 商業施設「ここなら笑店街」、みんなの交流館「ならは CANvas」を整備したことに伴い、多くの方々が交流を図るこれらの施設を連携させることで、再び町に賑わいを取り戻す。

(復旧の概況)

- 道路、上下水道等、生活に欠かせない生活インフラは復旧している。また、町営住宅については工事が完了し、既に入居開始している。また、笑ふるタウン内に分譲住宅を整備し、1工区(18区)は完売し、現在、2工区(集合住宅6区、戸建住宅31区)を販売している。
- 教育関連施設については、平成29年度から町内においてあおぞらこども園と小・中学校が再開した。また、町の観光スポットであるサイクリングターミナルやしおかぜ荘も復旧し、総合グラウンドには、被災で解体した屋内体育施設(体育館・プール・トレーニングジム)を整備し完成した。

檜葉町のインフラ復旧状況（令和3年度末現在）

| 工 種 | 復旧の状況 | 内 容 | (参考) 事業完了時期 |
|--------------------------|-------|---|--|
| 海岸 | ◎ | (農地海岸) 復旧済 2箇所／被災 2箇所 (建設海岸) 復旧済 4海岸／被災 4海岸 | H31年3月完了2地区(農地海岸) H31年3月完了(建設海岸) |
| 河川 (町管理) | ◎ | 工事完了 | 平成29年3月完了済 |
| 河川 (県管理) | ◎ | 復旧済 4河川／被災 4河川 | R2年3月末完了済 |
| 上水道 (双葉地方水道 企業団管理) | ◎ | 津波被災地区復旧 | H31年3月末完了済 |
| 下水道 | ◎ | ①管渠 被災 1箇所 | ① H29年3月完了済 |
| し尿処理 | ○ | ①合併浄化槽は、使用者において復旧 工事を随時実施 ②環境省主体で汲取り清掃を平成25 年8月に開始 ③平成25年6月より北地区浄化セン ターでし尿処理の受入れを実施 | ①継続事業 ②H27年3月受入れ終了 ③H27年4月受入れ終了 |
| 道路 (町管理) | ◎ | ①道路災害(地震被災) ②道路災害(津波被災) ③スマートインターチェンジ ④ならはスマートインター線道路改 築事業 ⑤木屋・小六郎線道路改築事業 | ①平成27年度完了 ②平成27年度完了 ③平成30年度完了 ④令和3年度完了 ⑤令和3年度終了 |
| 農地・農業用施 設 | ◎ | ①排水機場 復旧済 1箇所／被災 1箇所 ②農地(沿岸部以外) 復旧済 7箇所／被災 7箇所 ③ため池 復旧済 10箇所／被災 10箇所 ④ため池放射性物質対策 復旧済 10箇所／被災 11箇所 うち1池については復旧の必要なし ⑤用排水施設 (頭首工) 復旧済 1箇所／被災 1箇所 (水路) 復旧済 28箇所／被災 28箇所 ⑥農道 復旧済 5箇所／被災 5箇所 ⑦農地(沿岸部) 復旧済 15箇所／被災 15箇所 ⑧林道 これまで未定であったが、再度、現況 を確認したところ復旧する必要がない ことが判明した。 | ①H30年9月完了済 ②H29年7月完了済 ③H29年3月完了済 ④H31年3月完了済 ⑤H29年7月完了済 ⑥H29年3月完了済 ⑦H29年3月完了済 ⑧H30年3月完了済 |
| 海岸防災林 | ◎ | 海岸防災林造成(28.6ha) ・植生基盤盛土工 28.6ha /28.6ha ・植栽工 18.4ha /18.4ha | R2年度 |

| | | | |
|----------|---|---|---|
| 防災無線 | ○ | ①防災行政無線関連施設 3局／3局 ②防災無線 子機の配備・点検 | ① H28年度 工事完了 ②帰町した世帯の戸別受信機 動作確認及び貸出 |
| 役場・公共施設 | ◎ | ①役場 ・役場敷地整備工事完了 ・東庁舎南側法面整備工事未完成 ・駐車場増設工事未完成 ②集会所 (被災箇所 25 箇所、復旧済 25 箇所) | ①役場 ・役場敷地整備工事 ⇒平成 29 年 3 月 24 日完了 ・東庁舎南側法面整備工事 ・駐車場増設工事 ⇒平成 30 年 3 月 31 日工事完了 ②集会所 ・集会所復旧工事完了(24 箇所) ⇒平成 29 年 3 月 24 日完了 ・大坂地区集会所復旧工事 ⇒平成 30 年 3 月 31 日工事完了 |
| 福祉施設 | ◎ | ①南児童館：修繕なし ②北児童館：解体工事完了 ③保健福祉会館：復旧工事済 ④やまゆり荘：復旧工事済 ⑤りんべるハウス：解体済 ⑥グループホームこばな：解体済 | ①必要なし ②H29 年度解体工事完了 ③H28 年度復旧工事完了済 ④H27 年度復旧工事完了済 ⑤H28 年度解体工事完了済 ⑥H29 年度解体工事完了済 |
| | ◎ | [新設] ふたば医療センター附属ふたば復興 診療所 | H28 年 2 月開設 |
| 文教施設 | ◎ | [復旧済] あおぞらこども園、榎葉南小学校、榎 葉中学校、榎葉中学校武道館、榎葉町 公民館、榎葉町公民館別館、教員住宅、 JFA アカデミー女子寄宿舎、 コミュニティセンター、町民体育館、 総合グラウンド [施設解体] 北小学校：解体済 町民体育館：解体済 | 令和 2 年 3 月までにすべての文教 施設において完了済 |
| 観光施設 | ◎ | [復旧済] サイクリングターミナル、しおかぜ 荘、天神岬スポーツ公園、道の駅、岩 沢海水浴場 | R4 年 3 月復旧工事完了 |
| 公営住宅 | ◎ | [復旧済] 町営住宅 6 / 6 棟 雇用促進住宅 1 / 1 棟 | 平成 29 年 3 月工事完了 平成 29 年 3 月から入居開始 |
| 産業・産業用施設 | ◎ | 南工業団地災害復旧 ・専用排水管破損及び閉塞 ・調整池周辺法面崩落 | 平成 26 年度完了 |
| 復興まちづくり | ◎ | 波倉地区復興計画の策定が完了し、町 づくり計画は完了 | 平成 27 年度完了 |
| 除染 | ◎ | [実施済] 面的除染が完了 | 平成 26 年 3 月 |
| 廃棄物処理 | ◎ | ・被災家屋等(1,557 件)の解体撤去工 事を完了 ・仮設焼却施設 解体撤去完了 | 平成 31 年 2 月 令和 2 年 3 月 |

【凡例】◎：復旧済・機能回復済、○：復旧中・建設中、△：調査計画中、▽：未着手、—：該当なし、被災なし

福島県 富岡町

(基本方針)

- 富岡町の公共インフラは、生活道路や上下水道等の復旧を最優先とし、関係事業者との連携により早期機能回復に取り組んでいる。
- さらに、平成27年に策定された復興拠点整備計画に基づき、公共施設、医療施設や災害公営住宅等の生活環境整備に努め、整備する。
- 津波被災地域は、海岸堤防と河川対策との十分な計画調整を実施しつつ、順次整備を進めていく。

(復旧の概況)

- 道路については、帰還困難区域と津波被災地を除き町道の復旧が完了している。上下水道については、帰還困難区域を除き使用可能な状態となっている。帰還困難区域においては、特定復興再生拠点区域内のインフラ復旧(道路・上下水道)に着手しており、順次、使用可能エリアを拡大していく計画である。避難指示が解除された区域においては、生活に必要な生活基盤は整いつつある状況である。
- 教育施設については、小中学校の利用形態を富岡第一中学校校舎を使用することと定め、平成28年度から復旧に着手し、平成30年度に完了。平成30年4月より復旧完了部分を使用し、町内小中学校4校が再開している。
- その他施設については今後の利用判断も含め、可能な範囲内で状況調査や利用計画の検討等を実施していく予定である。

| 事業 | 整備主体 | 被災/稼働状況 | R3年度の目標 (R3.9.10公表) | R3年度に実施 したこと(成果) | R4年度に実施 すること(目標) | R4年度 | | | R5年度 | | | R6年度 | | | R7年度以降 | 備考・ポイント等 |
|----------------------------------|------|---|---|--|---|------|----|-----|------|----|----|------|----|----|--------------------------|----------|
| | | | | | | 4月 | 7月 | 10月 | 1月 | 4月 | 7月 | 10月 | 1月 | 4月 | | |
| 農業集落排水事業(小良ヶ浜地区) (小良ヶ浜浄化センター) | 富岡町 | 長期間運転を停止していることによる機器の不具合が確認されている。地震の直接的被害は無いものと確認済み。 | — | — | — | | | | | | | | | | 平成28年度完了 | |
| 農業集落排水事業(小良ヶ浜地区) (汚水管渠) | 富岡町 | 約5km(約30%)の汚水管渠に通水異常等を確認 | — | ・特定復興再生拠点区域で集落排水管渠復旧工事3件と関連の補修復旧工事を実施し、区域内の災害復旧事業は全て完了した。 ・特定復興再生拠点区域で集落排水管渠復旧工事3件と関連の補修復旧工事を実施し、区域内の災害復旧事業は全て完了した。 | — | | | | | | | | | | (帰還困難区域・拠点関連) 令和3年度完了 | |
| 道路(町道) | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 富岡川以南区域 | 富岡町 | 平成23年12月の現地調査により一歩部68箇所(概算復旧費8,000,000千円)、橋梁部5箇所の被災を確認。 | — | — | — | | | | | | | | | | | |
| 富岡川以北区域 | 富岡町 | ・特定復興再生拠点区域内で2箇所の災害査定を予定。 ・特定復興再生拠点区域内で道路災害復旧工事(令和元年度・令和2年度災害査定)2件を予定。 | — | ・特定復興再生拠点区域内で2箇所の災害査定を実施。 ・特定復興再生拠点区域内で道路災害復旧工事(令和元年度・令和2年度災害査定)2件を実施。 | ・特定復興再生拠点区域内で道路災害復旧工事(令和3年度災害査定)1件を予定。 | | | | | | | | | | (帰還困難区域・拠点関連) 令和3年度完了 | |
| アクセス道路整備 | 富岡町 | ・県道広野小宮線から津波で被災したJR富岡駅付近を立体交差し、既存町道へ接続して国道6号へ繋がる幹線道路を、曲田土地区画整理事業地内の復興拠点に接続し、避難道路の機能も備えたアクセス道路として平成27年6月に策定した富岡町災害復興計画(第二次)に位置付ける。 | — | — | — | | | | | | | | | | 令和3年度完成 | |
| 農業・水産・商業施設 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 農道 | 富岡町 | 「帰還困難区域内」に災害復旧申請が必要と思われる箇所が1箇所確認される。 | ・通常の維持管理を実施予定 | ・通常の維持管理を実施 | ・通常の維持管理を実施予定 | | | | | | | | | | 令和2年度完成、通常業務に移行 | |
| ため池 | 富岡町 | ・平成27年度の農林水産省による養蚕区域内被災状況調査により、錦山溜池ほか13箇所の被災が確認された。貯水量の大きさにより富岡町が災害復旧申請から復旧まで実施するものと福島県が代行して災害復旧申請から復旧まで実施していくものがある。 | ・継続した事業について継続して実施する予定。 ・使用するため池について、継続的にモニタリング調査を実施する予定。 ・西沢のため池保全工事を実施予定 ・8池のため池廃止工事を実施予定 | ・8池のため池廃止工事を実施 | ・継続的にモニタリングを実施予定 ・ため池放射性物質再対策1か所実施予定 | | | | | | | | | | | |
| 用水・排水路 | 富岡町 | 災害復旧申請が必要と思われる箇所が1箇所確認。 | ・前年度に引き続き用水路の除草・堆積土砂撤去を実施予定 ・水路(堰・水門)等の施設修繕実施予定 ・用水路整備工事を2箇所実施予定 | ・用水路の除草・堆積土砂撤去を実施 ・用水路測量設計を3路線実施 ・用水路整備工事を3路線実施 | ・用水路の除草・堆積土砂撤去を実施予定 ・用水路測量設計を1路線実施予定 ・用水路整備工事を5路線実施予定 | | | | | | | | | | | |
| 林道 | 富岡町 | 一部損傷/通行可 | ・継続費を設定しており、前年度発注分とともに設計内容を見直して工事発注する予定 | ・3路線の災害復旧が完了。 | ・通常の維持管理を実施予定 | | | | | | | | | | 令和3年度完成、通常業務に移行 | |
| 水産漁業組合施設整備 | 富岡町 | 津波により被害の受けた漁港の復旧に合わせ、漁具倉庫や上乗施設の整備を実施する。 | ・富岡川サケやな場の繰越した工事を発注予定 ・ふ化施設建設工事を発注予定 | ・富岡川サケやな場の繰越した工事を完成。 ・ふ化施設建設工事・外構工事を完成。 | ・やな場を設置し、サケを捕獲し、増殖事業を継続する予定。 | | | | | | | | | | 令和3年度完成、通常業務に移行 | |

| 事業 | 整備主体 | 被災/稼働状況 | R3年度の目標 (R3.9.10公表) | R3年度に実施 したこと(成果) | R4年度に実施 すること(目標) | R5年度 | | | R6年度 | | | R7年度以降 | 備考・ポイント等 | | |
|--------------------|------|---|--|---|--|------|----|-----|------|----|----|--------|----------|-----------|---|
| | | | | | | 4月 | 7月 | 10月 | 1月 | 4月 | 7月 | | | 10月 | 1月 |
| 海岸防災林の再生 | | | | | | | | | | | | | | | |
| 防災林造成事業 | 県 | ・海岸防災林の森林が津波により流失した。 | ・植生基礎盛土工 1.37ha完了(前年度繰越分) 6.09ha着手 ・植栽工 6.26ha着手 | ・植生基礎盛土工 1.36ha完了(前年度繰越分) 6.24ha着手 ・植栽工 0.75ha着手 0.75ha完了 | ・植生基礎盛土工 6.24ha完了(前年度繰越分) 3.00ha着手 3.00完了 ・植栽工 11.65ha着手 11.65完了 | | | | | | | | | 令和4年度完了予定 | |
| 防災施設 | | | | | | | | | | | | | | | |
| 防災無線 | 富岡町 | ・津波被災により子局の2局が流失した。平成25年度に既存アナログ方式の防災無線機能を回復しているが、本格復旧は、デジタル方式施設へ更新することで計画。 | — | — | — | | | | | | | | | | 平成28年度に完了 |
| 消防防災施設 | 富岡町 | ・復旧の優先順位が高い施設の被害調査を実施し、一部の建物に構造上影響があった被害が確認されている。 ・施設全体の復旧は、被災が大きい施設について建て替えを検討するが、原形復旧を基本とする。 | — | — | — | | | | | | | | | | 〔消防屯所〕 被災:2箇所 復旧済:10箇所(1箇所集約し9箇所だが屯所としては10箇所) 解体済:7箇所 復旧予定:4箇所のうち1箇所は令和4年度復旧予定、残り3箇所を集約し2箇所普及予定 |
| 備蓄倉庫 | 富岡町 | ・避難所避難が必要な災害に備え、必要な備蓄倉庫を建設する。 | — | — | — | | | | | | | | | | 令和元年度完了 |
| 文教施設 | | | | | | | | | | | | | | | |
| 文化交流センター 「学びの森」 | 富岡町 | ・建設設備に大きな損傷が確認されている。雨漏りの発生有。被災後の雨漏りにより、放射性物質による汚染が甚だしい状態。 | — | — | — | | | | | | | | | | 平成28年度完成 |
| スポーツセンター | 富岡町 | ・地震及び空調などの機器が長期間停止による不具合が発生している。 ・地震状況により一部の施設(ふれあいドーム)の基礎が破損している。 | — | — | — | | | | | | | | | | 平成28年度完成 |
| 総合体育館 | 富岡町 | ・建物・構造に係る被害は確認されなかった。 ・施設全体の復旧は原形復旧を基本とする。 | — | — | — | | | | | | | | | | 平成28年度完成 |
| 富岡幼稚園 | 富岡町 | ・目視による被害確認を行い、ヘアクラック、排水設備の不具合が確認されたものの建物の構造に係る被害は確認されていない。 ・施設全体の復旧は原形復旧を基本とする。 | — | — | — | | | | | | | | | | ・園舎は解体、外構等は保存する方針。 |
| 夜の森幼稚園 | 富岡町 | ・目視による被害確認を行い、建具ガラスの破損、屋根の一部損傷は確認されたものの建物の構造に係る被害は確認されていない。 ・施設全体の復旧は取り壊しを含め、今後検討する。 | — | — | — | | | | | | | | | | ・園舎は解体、外構等は富岡第二小学校に準ずる(富岡第二小学校と同一敷地)。 |
| 富岡第一小学校 | 富岡町 | ・目視による被害確認を行い、ヘアクラック、給排水設備の不具合が確認されたものの建物の構造に係る被害は確認されていない。 ・施設全体の復旧は原形復旧を基本とする。 | — | — | — | | | | | | | | | | ・平成30年4月より、富岡第一中学校校舎を使用し再開している。 ・校舎は解体、外構等は保存、体育館は機能回復工事を行う方針。 |
| 富岡第二小学校 | 富岡町 | ・目視による被害確認を行い、ヘアクラック、体育館軒天に破損が確認されたものの建物の構造に係る被害は確認されていない。 ・施設全体の復旧は原形復旧を基本とする。 | — | — | — | | | | | | | | | | ・平成30年4月より、富岡第一中学校校舎を使用し再開している。 ・校舎は解体、外構等は保存、体育館は機能回復工事を行う方針。 校舎については令和2年度解体完了 |
| 富岡第一中学校 | 富岡町 | ・目視による被害確認を行い、ヘアクラック、給排水設備の不具合が確認されたものの建物の構造に係る被害は確認されていない。 ・施設全体の復旧は原形復旧を基本とする。 | — | — | — | | | | | | | | | | ・平成29年度に施設復旧の第一期工事に着手し、同年度に完了。平成30年4月より南校舎をメインに使用し、町内の小中学校4校が再開している。 |
| 富岡第二中学校 | 富岡町 | ・目視による被害確認を行い、ヘアクラック、建具ガラスに破損が確認されたものの建物の構造に係る被害は確認されていない。 ・施設全体の復旧は原形復旧を基本とする。 | — | — | — | | | | | | | | | | ・平成30年4月より、富岡第一中学校校舎を使用し再開している。 令和2年度解体完了 |

富岡町のインフラ復旧状況（令和3年度末現在） ※帰還困難区域を除く

| 工 種 | 復旧の状況 | 内 容 | (参考) 事業完了時期 |
|------------------|--------------|--|------------------|
| 道路 (市町村管理) | ◎ (H28年度) | (復旧済 37箇所) / (被災 37箇所) | |
| 河川 (市町村管理) | / | | |
| 河川 (県管理) | ◎ | (復旧済 3河川) / (被災 3箇所) | R2年度 |
| 漁港 | ◎ | (復旧済 1漁港) / (被災 1漁港) | H30年度 |
| 海岸 | ◎ | (建設海岸)(毛萱仏浜地区海岸) 復旧済 1海岸 / 被災 1海岸 | R2年度 |
| | ◎ | (漁港海岸) 復旧済 2海岸 / 被災 2海岸 | H30年度 |
| 海岸防災林 | ○ | 海岸防災林造成 (23.6ha) ・植生基盤盛土工 14.36ha/23.6ha ・植栽工 4.55ha/16.2ha | R4年度 |
| 上水道(双葉地方水道企業団管理) | ○ | 津波被災地区復興 | R4年度末 |
| 下水道 | ◎ | 浄化センター、下水道管渠災害復旧 | H28年度 |
| 農地・ 農業用施設 | ◎ | [ため池放射性物質対策]対策済 23箇所/要対策 23箇所 [ため池]復旧済 3箇所/被災 3箇所 [水路]復旧済 3箇所/被災 3箇所 | R2年度 |
| 公共施設 | ◎ | [復旧済]町庁舎、集会所 13施設、消防屯所 10施設 | H30年度 |
| 医療福祉施設 | ◎ | [機能回復] 富岡町立とみおか診療所(新設) | H28年度 |
| | ◎ | [機能回復]ふたば医療センター附属病院(新設) | H30.4 |
| 文教施設 | ◎ | [復旧済]第一中学校(小・中学校として再開) [復旧済]ふれあいドーム | H30年度 |
| | ▽ | [被害調査済]富岡高等学校 | 未定 |
| | ○ | [移転予定] 富岡支援学校は檜葉町に移転開校予定 [移転予定] 富岡支援学校は解体工事 | R6年度予定 R4年度予定 |
| 観光施設 | — | 被災なし | |
| 住宅 | ◎ | [建設済]災害公営住宅(戸建て64戸、集合住宅90戸) [復旧完了]既存公営住宅戸建て16戸 | R元年度 |
| 除染 | ◎ | [実施済]面的除染が完了 | 平成29年1月 |
| 廃棄物処理 | ◎ | ・被災家屋等の解体撤去工事が完了(2,879件解体済) ・仮設焼却施設 解体撤去完了 | R3年4月 R元年10月 |

【凡例】◎：復旧済・機能回復済、○：復旧中・建設中、△：調査計画、▽：未着手、—：該当なし、被災なし

富岡町のインフラ復旧状況（令和3年度末現在） ※特定復興再生拠点

| 工 種 | 復旧の状況 | 内 容 | (参考) 事業完了時期 |
|--------------------------|----------|--|----------------|
| 道路 (市町村管理) | ○ | (復旧済 14 箇所) / (被災 15 箇所) | R4 年度 |
| 河川 (市町村管理) | ▽ | | 未定 |
| 海岸 | — | 該当なし | |
| 海岸防災林 | — | 該当なし | |
| 上水道 (双葉地方水道 企業団管理) | ○ 復旧中 | 関係事業と協議により復旧施工 | R4 年度 |
| 下水道 | ◎ | [公共下水道] 復旧完了 [農業集落排水] 復旧完了 | R3 年度 |
| 農地・ 農業用施設 | ▽ | [農道] 復旧済 0 箇所 / 被災 1 箇所 [ため池放射性物質対策] 対策済 0 箇所 / 要対策 5 箇所 | 未定 |
| 公共施設 | △ | [集会所] 被害調査を実施済み。機能回復設計及び機能回復工事を実施予定。 [公共トイレ] 被害調査を一部実施済み。機能回復設計及び機能回復工事を実施予定。 | R4 年度 R5 年度 |
| 医療福祉施設 | ▽ | | 未定 |
| 文教施設 | — | 該当なし（解体済み） | |
| 観光施設 | ▽ | | 未定 |
| 住宅 | △ | 被害調査及び機能回復設計を実施済み。R4 に機能回復工事実施予定。 | R4 年度 |
| 除染 | ○ | 町の特定復興再生拠点区域復興再生計画に従って除染を実施中 | 未定 |
| 廃棄物処理 | ○ | 町の特定復興再生拠点区域復興再生計画に従って廃棄物処理を実施中 | 未定 |

【凡例】 ◎：復旧済・機能回復済、○：復旧中・建設中、△：調査計画中、▽：未着手、—：該当なし、被災なし

富岡町のインフラ復旧状況（令和3年度末現在） ※帰還困難区域

| 工 種 | 復旧の状況 | 内 容 | (参考) 事業完了時期 |
|--------------------------|-------|--|----------------|
| 道路 (市町村管理) | ▽ | | 未定 |
| 河川 (市町村管理) | — | | |
| 海岸 | ◎ | (建設海岸)(富岡小良ヶ浜地区海岸) 復旧済 1海岸 / 被災 1海岸 | R2 年度 |
| 海岸防災林 | | 該当なし | |
| 上水道 (双葉地方水道 企業団管理) | | | |
| 下水道 | ▽ | | 未定 |
| 農地・ 農業用施設 | ▽ | | 未定 |
| 公共施設 | ▽ | | 未定 |
| 医療福祉施設 | — | | |
| 文教施設 | — | | |
| 観光施設 | — | | |
| 住宅 | — | | |
| 除染 | | | |
| 廃棄物処理 | | | |

【凡例】◎：復旧済・機能回復済、○：復旧中・建設中、△：調査計画中、▽：未着手、—：該当なし、被災なし

福島県 川内村

(基本方針)

- 村全地域において、日常生活の利便性を確保するため、村道の修繕・整備を必要に応じ実施する。
- 田畑及び森林等、生活圏において、必要に応じて除染のフォローアップを実施する。
- 帰村者間のコミュニティ強化、健康促進のための環境整備も取り組む。

(復旧の概況)

- 村道整備について、村民の生活圏に関しては、主要部分は完了した。今後は、必要性を考慮しながら順次着手をする。
- 除染について、住宅・住宅周辺・農地回り等の計画箇所については完了し、令和3年2月には除染廃棄物の全量搬出が完了し、現在は仮置場の原形復旧中。
- 福祉施設、生涯学習施設に関しては、実施・完了している。

川内村のインフラ復旧状況（令和3年度末現在）

| 工 種 | 復旧の状況 | 内 容 | (参考) 事業完了時期 |
|-----------------|-------|--|----------------|
| 道路 (市町村管理) | ◎ | (復旧済 38 箇所) / (被災 38 箇所) | |
| 河川 (市町村管理) | | 該当なし | |
| 河川 (県管理) | | 該当なし | |
| 漁港 | | 該当なし | |
| 海岸 | | 該当なし | |
| 防災林 | | 該当なし | |
| 上水道 | | 該当なし | |
| 下水道 (農業集落排水) | ◎ | [集落排水施設] 復旧済 3 箇所 / 被災 3 箇所 | |
| 農地・ 農業用施設 | ◎ | [備蓄倉庫] 1 箇所 (新設) | |
| 公共施設 | | 該当なし | |
| 医療福祉施設 | ◎ | [復旧済] 複合福祉施設ゆふね | |
| 文教施設 | ◎ | [機能回復] 村民プール (新設) [復旧済] 体育センター、草野心平記念館、館山公園 | |
| 観光施設 | ◎ | [機能回復] いわなの郷、かわうちの湯 [復旧済] 高塚山管理棟、キャンプ場 | |
| 住宅 | ◎ | [復旧済] 村営 28 住宅 (28 戸) [建設済] 災害公営住宅 (25 戸) | |
| 除染 | ◎ | [実施済] 面的除染が完了 | 平成 29 年 11 月 |
| 廃棄物処理 | ◎ | ・被災家屋等(102 件)の解体撤去工事を実施済 ・仮設焼却施設 解体撤去完了 ・葛尾村の仮設焼却施設において、可燃性廃棄物の焼却処理を完了 | 令和 3 年 3 月 |

【凡例】◎：復旧済・機能回復済、○：復旧中・建設中、△：調査計画中、▽：未着手、—：該当なし、被災なし

福島県 浪江町

(基本方針)

- 浪江町の道路・上下水道の公共インフラは、帰還困難区域を除きおおむね復旧している。今後は、生活インフラの完全復旧の実現、引き続き土地利用に合わせた道路整備に取り組んでいく。
- 農業用水路などの農業インフラ整備が課題となっていることから、引き続き確実な復旧工事を実施することにより町内の営農再開を支援する。
- 帰還困難区域については、復興・再生の核となる「特定復興再生拠点」を中心としたまちづくり・地域づくりを推進する必要があるため、国に徹底した除染を求め、インフラ整備・生活環境整備等をすすめる。

(復旧の概要)

- 平成29年3月31日に一部の地域を除き避難指示が解除され、生活に必須となる道路・上下水道等のインフラは、おおむね復旧済みの状態となっている。
- 令和3年度には、地震の影響による一部区間以外の新規3道路整備(津波被災関係)が完了した。また、浪江町役場本庁舎の第3期改修工事が完了した。
- 帰還困難区域においては、除染の進捗状況等を注視し、令和5年3月末の避難指示解除を目指し、居住環境整備等の検討を行っていく。

| 事業 | 整備主体 | 被災/稼働状況 | R3年度の目標 (R3.9.10公表) | | R4年度に実施 すること(目標) | | R5年度 | | | R6年度 | | | R7年度以降 | 備考・ポイント等 |
|--|-----------|---|--|---------------------------------------|---------------------------------------|----|------|----|----|------|-----|----|--------|--|
| | | | R3年度に実施 したこと(成果) | R4年度に実施 すること(目標) | 4月 | 7月 | 10月 | 1月 | 4月 | 7月 | 10月 | 1月 | | |
| 役場等公共施設 | | | | | | | | | | | | | | |
| 役場庁舎 | 浪江町 | 水道及び下水道配管が敷地内で破損 建物と敷地の段差 | 第3期分 工事発注 | 第3期分 工事完了 | 3期分工事 | | | | | | | | | |
| | 浪江町役場津島支所 | 主だった被害なし | 未定 | 支所機能をつしま活性化センターに移転 | 未定 | | | | | | | | | |
| 北郷集会所 | 浪江町 | 未調査 | 解体工事終了 | | | | | | | | | | | 解体工事完了 |
| 地区集会所修繕支援 | 浪江町 | 未調査 | 地区集会所施設修繕等事業補助金制度の運用 | 地区集会所施設修繕等事業補助金制度の運用 | | | | | | | | | | |
| 防災行政無線 | 浪江町 | 津波により5基損壊 | | | | | | | | | | | | 完了 |
| 区域再編に伴う施設整備 休憩所、仮設トイレ、診療所 | 浪江町 | 建物は整備な修繕必要 電気、機械設備は未調査 公共仮設トイレ5基を整備 | 保守・管理委託 | 公共仮設トイレの保守・管理 | 和式から洋式に一部変更 保守・管理委託 | | | | | | | | | |
| 消防屯所 | 浪江町 | 長期避難による修繕等 | ・集約した屯所の整備工事 ・消防車庫3か所、屯所改修1か所 ・集約される屯所の解体(環境省事業) | ・集約される屯所の解体(環境省事業) | 必要施設の整理・屯所解体調整 | | | | | | | | | |
| 学校教育施設等 | | | | | | | | | | | | | | |
| 浪江小学校、歳世橋小学校 | 浪江町 | 被害の主なものは、ガラス破損、漏水、外構被害、壁面破損、天井破損など | 校舎の解体実施 | 校舎の解体工事 | | | | | | | | | | 解体工事済み |
| 浪江東中学校 | 浪江町 | 被害の主なものとしては、ガラス破損、漏水、外構被害、壁面破損、天井破損など | | | | | | | | | | | | なみえ創成小学校及び中学校として運営中 (H29年度に大規模修繕済み) |
| 浪江中学校、苅野小学校、大堀小学校、西地区共同給食調理場、苅野幼稚園、大堀幼稚園 | 浪江町 | 被害の主なものとしては、ガラス破損、漏水、外構被害、壁面破損、天井破損など | 一部の学校校舎について解体工事 | 校舎の解体工事 | | | | | | | | | | 解体工事済み |
| 帰還困難区域内中学校 津島小学校、津島中学校、津島地区共同給食調理場 | 浪江町 | 被害の主なものとしては、ガラス破損、漏水、外構被害、壁面破損、天井破損など | 帰還困難区域の復興拠点整備計画等の状況から継続検討 | 帰還困難区域の復興拠点整備計画等の状況から継続検討 | 継続検討 | | | | | | | | | 学校以外の校舎利用第一企画財政課で検討中 ※上記施策がない場合は教育委員会で解体手 続き |
| 津波被災地区内中学校 請戸小学校、東地区共同給食調理場 | 浪江町 | 津波被災 | 追加工事の実施 供用開始 | ブール解体及び外構等追加工事を実施し、10月24日に開館。 | | | | | | | | | | 令和3年度完了 |
| 浪江高等学校 | 福島県 | 目標による概略調査により被害状況は把握している。 | 住民帰還、小中学校の再開状況の様子を見ていく。 | 今後のあり方の検討 | 今後のあり方の検討 | | | | | | | | | 現在休校中としており今後のあり方を検討中。 (避難指示が解除され間もないことから、住民の帰還状況、小中学校の再開状況を考慮しながら、今後のあり方を検討する。) |
| 帰還困難区域内中学校 浪江高等学校津島校 | 福島県 | 目標による概略調査により被害状況は把握している。 | 住民帰還、小中学校の再開状況の様子を見ていく。 | 避難指示解除を待たううえで、住民帰還、小中学校の再開状況の様子を見ていく。 | 避難指示解除を待たううえで、住民帰還、小中学校の再開状況の様子を見ていく。 | | | | | | | | | 帰還困難区域内にあることから休校中としている。 (避難指示解除後、住民の帰還状況、小中学校の再開状況を考慮しながらあり方を検討する。) |

| 事業 | 整備主体 | 被災/稼働状況 | R3年度の目標 (R3.9.10公表) | R3年度に実施 したこと(成果) | R4年度に実施 すること(目標) | R5年度 | | | R6年度 | | | R7年度以降 | 備考・ポイント等 | |
|------------------------------------|------|---|--|--|--|------|----|------------------------------|------|----|----|--------|----------|---|
| | | | | | | 4月 | 7月 | 10月 | 1月 | 4月 | 7月 | | | 10月 |
| しらうめ荘 | 浪江町 | 未調査 | 解体工事の継続 | 解体及び既存工作物撤去完了 | | | | | | | | | 解体工事完了 | |
| 復興まちづくり | | | | | | | | | | | | | | |
| 復興まちづくり計画 策定 | 浪江町 | - | 計画の進行管理を行う。 | 計画開始から1年目であったことから、翌年度の進行管理に向け手法等を検討した。 | 計画の進行管理を行う。 | | | 見直し | | | | | | 令和8年度に見直しを図る。 |
| 中心市街地 | 浪江町 | - | 都市計画決定・事業認可手続き 測量・地質調査・造成基本設計業務 区域内地権者訪問 | 都市計画決定・事業認可手続き 測量・地質調査・造成基本設計業務 区域内地権者訪問 | 造成実施設計・測量等 都市計画決定・事業認可変更手続き 用地交渉 | | | 造成工事 建築実施 | | | | | | |
| 特定復興拠点整備 | 浪江町 | - | 特定復興拠点区域の施設復旧 について、進捗情報を確認し、国や県等 と共有を図る。 | 関係省庁、県とインフラ整備状況等につ いて進捗情報の共有を図り、令和5年3 月の避難指示解除に向け適切に事業を 実施した。 | 令和5年3月の避難指示解除に向け、全 ての事業を完了させる。 | | | 避難指示 解除 | | | | | | |
| 除染 | | | | | | | | | | | | | | |
| 先行除染 | 国 | 警察署、消防署等の除染実施済み | | | | | | | | | | | | |
| 面的除染 | 国 | 平成24年11月 特別地域内除染実施計画策定 平成25年12月 特別地域内除染実施計画一部改定 平成29年3月 面的除染完了 | 必要に応じて、除染のフォローアップ を実施する。 | 必要な除染のフォローアップを実施 した。 | 必要に応じて、除染のフォローアップ を実施する。 | | | | | | | | | |
| 仮置場 | 国 | 除染仮置場(17ヶ所) | 除去土壌等の管理、中間貯蔵施設 等への輸送、原状回復 | 除去土壌等の管理、中間貯蔵施設 等への輸送、原状回復をした。 | 除去土壌等の管理、中間貯蔵施設 等への輸送、原状回復 | | | 除去土壌等の管理、中間貯蔵施設等への輸送 原状回復 | | | | | | |
| (帰還困難区域) 特定復興拠点区域内の 除染・廃棄物処理 | 国 | 計画に基づき、除染・廃棄物処 理を実施 | 計画に基づき、除染・廃棄物処理を 実施 | 計画に基づき、除染・廃棄物処理を 実施し、令和4年9月末時点で除染 進捗率(申請受付件数比)は約 65%。 | 計画に基づき、除染・廃棄物処理を 実施 | | | 計画に基づき除染・廃棄物処理 | | | | | | ・計画の期間：令和5年3月まで (令和5年3月までの避難指示解除) ・必要に応じて、除染のフォローアップを実施 |
| 災害廃棄物処理 | | | | | | | | | | | | | | |
| 対策地域内廃棄物処理 | 国 | (仮設焼却施設) 稼働中 | 引き続き、対策地域内廃棄物の処理を 実施 | 引き続き、対策地域内廃棄物の処理を実施した。 | 引き続き、対策地域内廃棄物の処理を 実施 | | | 可燃物処理 | | | | | | |

浪江町のインフラ復旧状況（令和3年度末現在） ※帰還困難区域を除く

| 工 種 | 復旧の状況 | 内 容 | (参考) 事業完了時期 |
|-----------------|-------|--|----------------|
| 道路 (市町村管理) | ◎ | 町道小熊田・宮田線、上川原橋 災害復旧（復旧済 3 4 箇所）／（被災 3 4 箇所） | R2 年度末 |
| 河川 (市町村管理) | | 該当なし（被災なし） | |
| 河川 (県管理) | ◎ | （復旧済 2 河川）／（被災 2 河川） | R3 年度 |
| 漁港 | ◎ | （復旧済 1 漁港）／（被災 1 漁港） | R2 年度 |
| 海岸 | ◎ | （農地海岸） 復旧済 1 箇所 / 被災 1 箇所 | H30 年度 |
| | ◎ | （漁港海岸） 復旧済 1 海岸 / 被災 1 海岸 | R2 年度 |
| | ◎ | （建設海岸） 復旧済 3 箇所 / 被災 3 海岸 | R2.3 |
| 海岸防災林 | ○ | 海岸防災林造成（64.7ha） ・植生基盤盛土工 44.53 / 64.7ha ・植栽工 27.88 / 49.9ha | R5 年度 |
| 上水道 | ◎ | ・復旧工事完了 | R5 年度 |
| 下水道 | ◎ | ・復旧工事完了 | R 元年度 |
| 下水道 (農業集落排水) | ◎ | 復旧済 2 箇所 / 被災 2 箇所 | H28.6 |
| 農地・ 農業用施設 | ○ | [農 地]復旧済 1 箇所 / 被災 2 箇所 [用水路]復旧済 2 箇所 / 被災 6 箇所 [ため池]復旧済 3 地区 / 被災 3 地区 [パイプライン] 復旧済 4 か所 / 被災 4 か所 | 未定 |
| 公共施設 | ◎ | [復旧済]町役場庁舎、地域スポーツセンター 消防屯所 4 箇所整備 [建設済]地域公共施設 | R4 年度 |
| 医療福祉施設 | ◎ | [機能回復]浪江診療所（新設） | H28 年度 |
| 文教施設 | ◎ | [改修済]浪江東中学校 | H29 年度 |
| | ◎ | [解体済]浪江・幾世橋・苺野・大堀小学校、浪江中学校、 苺野・大堀幼稚園、西地区共同給食調理場 | R3 年度 |
| | ▽ | [未着手]浪江高等学校 | 未定 |
| | ◎ | [建設済]ふれあい交流センター | R4 年度 |
| 福祉施設 | ◎ | [建設済]認定こども園 | H29 年度 |
| | ◎ | [廃止済]コスモス保育園 | R3 年度（廃止） |
| 観光施設 | ◎ | [改修済]いこいの村なみえ | H29 年度 |
| 住宅 | ◎ | [建設済]幾世橋地区災害公営住宅（85 戸）、請戸地区災 害公営住宅（26 戸） [改修済]福島再生賃貸住宅（80 戸） | R2 年度 |
| 除染 | ◎ | [実施済]面的除染が完了 | 平成 29 年 3 月 |
| 廃棄物処理 | ○ | ・被災家屋等の解体撤去工事が完了（4,003 件解体撤去 済） ・仮設焼却施設 稼働中 | 未定 |

【凡例】◎：復旧済・機能回復済、○：復旧中・建設中、△：調査計画中、▽：未着手、—：該当なし、被災なし

浪江町のインフラ復旧状況（令和3年度末現在） ※帰還困難区域

| 工 種 | 復旧の状況 | 内 容 | (参考) 事業完了時期 |
|-----------------|-------|-------------------------------------|----------------|
| 道路 (市町村管理) | ◎ | 復旧済み | 令和元年度 |
| 河川 (市町村管理) | | 該当なし（被災なし） | |
| 河川 (県管理) | ◎ | 復旧済み（高瀬川） | 令和3年 |
| 漁港 | | 該当なし | - |
| 海岸 | | 該当なし | - |
| 海岸防災林 | | 該当なし | - |
| 上水道 | ▽ | [未着手] 酒井地区 | 未定 |
| 下水道 | | 該当なし | - |
| 下水道 (農業集落排水) | | 該当なし | - |
| 農地・ 農業用施設 | ▽ | [農 地] 未実施 [用水路] 未実施 [ため池] 未復旧 | 未定 |
| 公共施設 | | 該当なし | |
| 医療福祉施設 | | 該当なし | - |
| 文教施設 | | 該当なし | - |
| 福祉施設 | | 該当なし | - |
| 観光施設 | | 該当なし | - |
| 住宅 | | 該当なし | |
| 除染 | | | |
| 廃棄物処理 | | | |

【凡例】 ◎：復旧済・機能回復済、○：復旧中・建設中、△：調査計画中、▽：未着手、—：該当なし、被災なし

浪江町のインフラ復旧状況（令和3年度末現在） ※特定復興再生拠点

| 工 種 | 復旧の状況 | 内 容 | (参考) 事業完了時期 |
|-----------------|-------|---|----------------|
| 道路 (市町村管理) | ◎ | 復旧済み | 令和元年度 |
| 河川 (市町村管理) | | 該当なし（被災なし） | |
| 河川 (県管理) | | 該当なし（被災なし） | |
| 漁港 | | 該当なし | - |
| 海岸 | | 該当なし | - |
| 海岸防災林 | | 該当なし | - |
| 上水道 | — | 被害なし | |
| 下水道 | | 該当なし | - |
| 下水道 (農業集落排水) | | 該当なし | - |
| 農地・ 農業用施設 | ▽ | [農 地] 未実施 [用水路] 調査実施2地区 / 未実施1地区 [パイプライン] 調査実施1箇所 [ため池] 未復旧 | 未定 |
| 公共施設 | ▽ | [未着手] 浪江町役場津島支所 [設計実施] つしま活性化センター [一部復旧済] 下津島消防屯所（飲料水設備未整備） [整備中] 室原地区防災拠点 | 一部令和3年度 |
| 医療福祉施設 | ▽ | [未着手] 浪江津島診療所 | 未定 |
| 文教施設 | ▽ | [未着手] 津島小学校、津島中学校 | 未定 |
| | ▽ | [未着手] 浪江高等学校津島校 | 未定 |
| 福祉施設 | ▽ | [未着手] 津島保育所 | 未定 |
| 観光施設 | | 該当なし | - |
| 住宅 | △ | [調査計画中] 福島再生賃貸住宅（津島地区）（10戸） | R4年度 |
| 除染 | ○ | 町の特定復興再生拠点区域復興再生計画に従って、除染を実施中 | 未定 |
| 廃棄物処理 | ○ | 町の特定復興再生拠点区域復興再生計画に従って、廃棄物処理を実施中 | 未定 |

【凡例】◎：復旧済・機能回復済、○：復旧中・建設中、△：調査計画中、▽：未着手、—：該当なし、被災なし

福島県 葛尾村

(基本方針)

- 葛尾村の公共インフラは、帰還に必要な社会基盤については、復旧を最優先とし、関係事業者との連携により早期機能回復に取り組む。
- さらに、平成 26 年度に策定されたかつらお再生戦略プランに基づき、生活環境整備に努め、合わせて農業の再生を図る。
- 帰還困難区域にある野行地区については、特定復興再生拠点計画に基づき、拠点区域の除染や生活環境の整備を進める。

(復旧の概況)

【解除区域】

- 生活に必須となる主要道路のインフラ整備は完了した。
落合地区簡易水道については、取水源を深井戸に変更し供用開始された。
し尿処理については、回収が完了し、完了した物件から震災前の処理体制に戻っている。
- 医療福祉施設や、役場、公民館などの住民の生活環境に係る公共インフラについては、復旧が完了し施設の供用が開始されている。
- 文教施設(幼稚園・小学校・中学校)の整備は完了し、平成30年4月から学校を再開している。また、教員住宅についても平成 31 年 3 月までに整備が完了した。

【帰還困難区域】

- 道路については、令和3年度に調査設計が完了し、令和4年度から工事を実施する予定。
- 生活インフラについては、令和3年度から意向確認のうえ個人宅の深井戸掘削工事を実施中。

葛尾村のインフラ復旧状況（令和3年度末現在） ※帰還困難区域を除く

| 工 種 | 復旧の状況 | 内 容 | (参考) 事業完了時期 |
|--------------|----------------------|---|----------------|
| 道路 (村管理) | ◎ | 復旧済 | |
| 河川 (県管理) | ◎ | (復旧済み 2箇所) / (被災 2箇所) | |
| 漁港 | | 該当なし | |
| 海岸 | | 該当なし | |
| 防災林 | | 該当なし | |
| 上水道 | ◎ 使用再開 (H28.4) | | |
| 下水道 | | 該当なし | |
| 農地・ 農業用施設 | ○ | [農地]復旧済 3箇所/被災 3箇所 [農業用施設]復旧済 1箇所/被災 1箇所 復旧中 42箇所 [農道]復旧済 5箇所/被災 5箇所 | R4年度予定 |
| 公共施設 | ◎ | [復旧済]庁舎、公民館 | |
| 医療福祉施設 | ◎ | [復旧済]葛尾村診療所 [復旧済]みどり荘 | |
| 文教施設 | ◎ | [復旧済]幼稚園、小学校、中学校、学校給食センター 中学校体育館、学校プール(小学校及び中学校の共用) [復旧済]教員住宅 | |
| 観光施設 | ◎ | もりもりランド(一部修繕) | |
| 住宅 | ◎ | [復旧済]村営住宅(12戸) [建設済]災害公営住宅(11戸) | |
| 除染 | ◎ | [実施済]面的除染が完了 | H27年12月 |
| 廃棄物処理 | ◎ | ・被災家屋等の解体撤去工事を完了 ・仮設焼却施設 稼働終了 | |

【凡例】◎：復旧済・機能回復済、○：復旧中・建設中、△：調査計画中、▽：未着手、—：該当なし、被災なし

葛尾村のインフラ復旧状況（令和3年度末現在） ※特定復興再生拠点

| 工 種 | 復旧の状況 | 内 容 | (参考) 事業完了時期 |
|--------------|-------|---|-----------------------------|
| 道路 (村管理) | ○ | 被災 7 路線 | 村道落合下野行線の舗装工事を除き、R4 年度未完了予定 |
| 河川 (村管理) | ▽ | 今後、調査設計を行う予定 | |
| 漁港 | | 該当なし | |
| 海岸 | | 該当なし | |
| 防災林 | | 該当なし | |
| 上水道 | ○ | 復旧済 5 箇所 住民の帰還意向に従って設計・工事を実施。 | 未定 |
| 下水道 | | 該当なし | |
| 農地・ 農業用施設 | ○ | [農地] 意向確認 [農業用施設] 調査設計 [農道]復旧済 1 箇所/被災 1 箇所 | 未定 |
| 公共施設 | ◎ | 野行集会所修繕（修繕設計済） | |
| 医療福祉施設 | | 該当なし | |
| 文教施設 | | 該当なし | |
| 観光施設 | | 該当なし | |
| 住宅 | | 該当なし | |
| 除染 | ○ | [実施済] 面的除染が完了 | R4 年度予定 |
| 廃棄物処理 | ○ | 村の特定復興再生拠点区域復興再生計画に従って、廃棄物処理を実施中 | 未定 |

【凡例】◎：復旧済・機能回復済、○：復旧中・建設中、△：調査計画、▽：未着手、—：該当なし、被災なし

葛尾村のインフラ復旧状況（令和3年度末現在） ※帰還困難区域内

| 工 種 | 復旧の状況 | 内 容 | (参考) 事業完了時期 |
|--------------|-------|---------------------------------|----------------|
| 道路 (村管理) | ▽ | 除染後調査設計 | |
| 河川 (村管理) | | 該当なし | |
| 漁港 | | 該当なし | |
| 海岸 | | 該当なし | |
| 防災林 | | 該当なし | |
| 上水道 | ▽ | 除染後井戸掘削の希望の取りまとめ及び設計 | |
| 下水道 | | 該当なし | |
| 農地・ 農業用施設 | ▽ | [農地] 除染後調査設計 [農業用施設] 除染後調査設計 | |
| 公共施設 | | | |
| 医療福祉施設 | | 該当なし | |
| 文教施設 | | 該当なし | |
| 観光施設 | | 該当なし | |
| 住宅 | | 該当なし | |
| 除染 | | | |
| 廃棄物処理 | | | |

【凡例】◎：復旧済・機能回復済、○：復旧中・建設中、△：調査計画中、▽：未着手、—：該当なし、被災なし

福島県 飯舘村

(基本方針)

- 村民の帰還や村の復興に必要となる道路、水道、集落排水等のインフラについては、早急に復旧をする。
- 施設の再開については、各施設をどのように維持していくのかということも含めて検討を行い、施設再開に向けた復旧・維持管理を行う。
- 帰還困難区域である長泥地区については、特定復興再生拠点区域復興再生計画に基づき、除染や生活環境の整備等を進める。

(復旧の概況)

- 帰還困難区域を除き、道路・上下水道等の生活に必須となるインフラについては、概ね復旧している。
- 医療福祉施設、役場、公民館、集会所などの住民の生活環境やコミュニティ復活に係るインフラについては、これまで復旧工事等を行ってきており、概ね復旧している。

→ : 工事が進められるもの ● : 工事が完了するもの

| 事業 | 整備主体 | 被災/稼働状況 | R3年度の目標 (R3.9.10公表) | R3年度に達成 したこと(成果) | R4年度に達成 すること(目標) | R4年度 | | | R5年度 | | | R6年度 | | | R7年度以降 | 備考・ポイント等 |
|---|-------|------------------------|------------------------------|--|------------------------------|------|----|-----|------|----|----|------|----|----|--------|--|
| | | | | | | 4月 | 7月 | 10月 | 1月 | 4月 | 7月 | 10月 | 1月 | 4月 | | |
| 特定復興再生拠点区域(東北地区) | | | | | | | | | | | | | | | | |
| (再掲) 上水道 井戸等 | 村 | 詳細な被害状況は不明 | 除染事業の進捗や住民の要望 等に応じて事業実施 | 未着手 | 除染事業の進捗や住民の要望 等に応じて事業実施 | | | | | | | | | | | |
| (再掲) 下水道 道路 合併浄化槽 | 村 | 詳細な被害状況は不明 | 除染事業の進捗や住民の要望 等に応じて事業実施 | 未着手 | 除染事業の進捗や住民の要望 等に応じて事業実施 | | | | | | | | | | | |
| (再掲) 国道・県道・村道 | 国・県・村 | 詳細な被害状況は不明 | 除染事業の進捗や住民の要望 等に応じて事業実施 | 未着手 | 除染事業の進捗や住民の要望 等に応じて事業実施 | | | | | | | | | | | |
| (再掲) 農地・農業用施設 環境再生事業 | 国 | | 栽培実験を継続するとともに、 農地の造成工事を実施 | 栽培実験及び農地の造成工事 を実施 | 栽培実験を継続するとともに、 農地の造成工事を実施 | | | | | | | | | | | |
| (再掲) 文教施設・その他庁舎施設 集会所・交流・地域防災拠点 施設 | 村 | - | 整備工事の着工 | エリア内の造成工事及び施設 建設工事を実施した。 | エリア内の造成工事及び施設 建設工事を実施する。 | | | | | | | | | | | 令和4年度完了予定 |
| (再掲) 除染・廃棄物処理 | 国 | 計画に基づき、除染・廃棄物処 理を実施 | 計画に基づき、除染・廃棄物処 理を実施。 | 計画に基づき、除染・廃棄物処 理を実施し、令和4年3月末時 点で除染は概ね実施済み、家 屋等の解体は概ね完了。 | 計画に基づき、除染・廃棄物処 理を実施 | | | | | | | | | | | 計画の期間 令和4年3月31日まで 令和5年3月31日までの期間内精算。 必要に応じて、関係のフォローアップを実施。 |

飯館村のインフラ復旧状況（令和3年度末現在） ※帰還困難区域を除く

| 工 種 | 復旧の状況 | 内 容 | (参考) 事業完了時期 |
|-----------------|-------|--|--------------------------|
| 道路 (市町村管理) | ◎ | (復旧済 6箇所) / (被災 6箇所) | |
| 河川 (市町村管理) | ◎ | 点検・堆積土砂の撤去等を実施 | (R3年度) |
| 河川 (県管理) | ◎ | (復旧済 1箇所) / (被災 1箇所) | (H26年度) |
| 漁港 | | 該当なし | |
| 海岸 | | 該当なし | |
| 防災林 | | 該当なし | |
| 上水道 | ◎ | 軽微な漏水箇所を修繕済み | |
| 下水道（農業集 落排水） | ○ | 管路に一部弛みがあるが機能回復済み 復旧済 0地区/被災 1地区 | (R4年度) |
| 農地・ 農業用施設 | ◎ | [用水路]復旧済 [ため池]復旧済 | |
| 公共施設 | ◎ | [復旧済]村庁舎、ふれ愛館（建替）、消防庁舎（建替）、 スポーツ公園、大倉体育館 [解体済]ふれあい交流館たてやま、柔剣道場 | |
| 医療福祉施設 | ◎ | [復旧済]いいたてクリニック | |
| 文教施設 | ◎ | [復旧済]義務教育学校を整備（飯館中学校・草野・飯樋・ 臼石小学校を統合） [建設済]認定こども園、給食センター | |
| | ▽ | [未着手]相馬農業高等学校飯館校 | (未定) |
| 観光施設 | ◎ | [復旧済]宿泊体験館きこり | |
| 住宅 | ◎ | [復旧済]村営住宅（50戸） [建設済]災害公営住宅（61戸） 福島再生賃貸住宅（15戸） | |
| 除染 | ◎ | [実施済] 面的除染が完了 | H28年12月 |
| 廃棄物処理 | ◎ | ・被災家屋等(1,460件)の解体撤去工事を完了 ・仮設焼却施設（小宮） 解体撤去完了 ・仮設焼却施設（蕨平） 解体撤去完了 | R2年7月 H30年3月 R3年2月 |

【凡例】◎：復旧済・機能回復済、○：復旧中・建設中、△：調査計画中、▽：未着手、—：該当なし、被災なし

飯舘村のインフラ復旧状況（令和3年度末現在） ※特定復興再生拠点

| 工 種 | 復旧の状況 | 内 容 | (参考) 事業完了時期 |
|----------------|--------|----------------------------------|----------------|
| 道路 (市町村管理) | △ | 令和4年度復旧予定 | (R5年度末) |
| 河川 (市町村管理) | | 該当なし | |
| 河川 (県管理) | | 該当なし | |
| 漁港 | | 該当なし | |
| 海岸 | | 該当なし | |
| 防災林 | | 該当なし | |
| 上水道 | △ | 今後、井戸掘削の希望のとりまとめ及び設計 | (R5年度内) |
| 下水道（合併浄 化槽） | ▽ | 詳細な被害の把握ができていない。 | (R5年度内) |
| 農地・ 農業用施設 | ▽ | 詳細な被害の把握ができていない。 | (R5年度内) |
| 公共施設 | ○ | [建設予定] 集会・交流・地域防災拠点施設 | (R4年度内) |
| 医療福祉施設 | | 該当なし | |
| 文教施設 | | 該当なし | |
| 観光施設 | | 該当なし | |
| 住宅 | | 該当なし | |
| 除染 | ○ 国 | 村の特定復興再生拠点区域復興再生計画に従って、除染を実施中 | 未定 |
| 廃棄物処理 | ○ 国 | 村の特定復興再生拠点区域復興再生計画に従って、廃棄物処理を実施中 | 未定 |

【凡例】◎：復旧済・機能回復済、○：復旧中・建設中、△：調査計画中、▽：未着手、—：該当なし、被災なし

飯舘村のインフラ復旧状況（令和3年度末現在） ※帰還困難区域

| 工 種 | 復旧の状況 | 内 容 | (参考) 事業完了時期 |
|----------------|-------|------------------|----------------|
| 道路 (市町村管理) | ▽ | 詳細な被害の把握ができていない。 | (R5 年度末) |
| 河川 (市町村管理) | | 該当なし | |
| 河川 (県管理) | | 該当なし | |
| 漁港 | | 該当なし | |
| 海岸 | | 該当なし | |
| 防災林 | | 該当なし | |
| 上水道 | ▽ | 詳細な被害の把握ができていない。 | |
| 下水道（合併浄 化槽） | ▽ | 詳細な被害の把握ができていない。 | |
| 農地・ 農業用施設 | ▽ | 詳細な被害の把握ができていない。 | |
| 公共施設 | | 該当なし | |
| 医療福祉施設 | | 該当なし | |
| 文教施設 | | 該当なし | |
| 観光施設 | | 該当なし | |
| 住宅 | | 該当なし | |
| 除染 | | | |
| 廃棄物処理 | | | |

【凡例】◎：復旧済・機能回復済、○：復旧中・建設中、△：調査計画中、▽：未着手、—：該当なし、被災なし

福島県 大熊町

(基本方針)

- 大熊町の公共インフラは、一時帰宅、特例宿泊等で必要となる道路等の応急復旧を安全管理の目的で最優先とし、関係事業者との連携により早期機能回復、維持管理に取り組む。また、避難指示解除後の区域については関係機関と調整をとり、国・県の協力を得ながら復旧に努める。
- さらに、平成27年に策定した大熊町第二次復興計画を平成31年に改訂し、「帰町を選択できる環境の実現」を目標にその第一ステップとして、大川原地区に復興拠点を整備。拠点内に公共インフラ、公共施設、医療施設や災害公営住宅等の生活環境整備に努める。
- また、平成29年11月に認定された帰還困難区域における特定復興再生拠点区域復興再生計画に基づき、帰還困難区域内の除染が開始されており、大川原地区復興拠点内の整備とともに、令和4年春の特定復興再生拠点区域の避難指示の解除を目指し、除染、インフラ整備を進める。

(復旧の概況)

- (避難指示解除された大川原地区及び中屋敷地区においては)道路に関して、今後も継続して工事を行う。
下水道に関しては、地域下水第4処理施設(大川原地区の農業集落排水施設)の復旧工事を実施(平成28年5月完成)。
公共施設に関しては、大川原地区内にある坂下ダム管理事務所で電気、ガス、上水設備、浄化槽の復旧及び除染が終了。大川原地区復興拠点についてはライフラインの整備を令和元年度に完了。同拠点では、整備した役場庁舎において令和元年5月より業務開始。同年6月に災害公営住宅、同年10月に再生賃貸住宅の入居開始。令和2年4月に認知症高齢者グループホーム及び住民福祉センター、令和3年2月に診療所が開所、令和3年4月に商業施設が先行オープン、同年10月に交流施設、宿泊温浴施設がグランドオープン。
- (国で指定している帰還困難区域においては)道路は、幹線道路が災害調査測量済みで令和3年度より段階的に復旧工事を実施(完了時期未定)。下水道に関しては、地域下水第3処理施設(野上地区の農業集落排水施設)の復旧工事を実施(令和3年9月完成)。地域下水道第6処理施設の復旧工事を実施中(令和4年6月完成予定)。公共施設に関しては、ほとんどが帰還困難区域内にあるため、当面は除染やライフライン復旧の進捗状況に応じた復旧計画を策定予定。特定復興再生拠点区域復興再生計画が平成29年11月に認定されたため認定された場所を中心に除染、インフラ整備を進めていく。

| 事業 | 整備主体 | 被災/稼働状況 | R3年度の目標 (R3.9.10公表) | R3年度に実施 したこと(成果) | R4年度に実施 すること(目標) | R4年度 | | | R5年度 | | | R7年度以降 | 備考・ポイント等 | |
|--------------------------------|------|---|------------------------|----------------------|---|-----------|------------|-----------|------------|-----------|------------|--------|----------|--|
| | | | | | | 4月 :7月 | 10月 :1月 | 4月 :7月 | 10月 :1月 | 4月 :7月 | 10月 :1月 | | | |
| 文教施設 | | | | | | | | | | | | | | |
| (H31.4避難指示解除区域) 学びの森(幼児小中)(新設) | 町 | 建設開始 | - | 実施設計を完了 | 建設工事・設備整備を実施する | 建設工事 | → | → | → | → | → | → | → | R6年度より、町内で教育活動を再開 |
| (特定復興再生拠点区域) 大熊町文化センター | 町 | 被害調査を実施。解体予定(時期未定) | - | 解体に向けて検討を行った | 解体に向けて検討を進める | 検討・準備 | → | → | → | → | → | → | → | |
| (特定復興再生拠点区域) 大熊町図書館・民俗伝承館 | 町 | 被害調査を実施。調査結果に基づき、解体予定(R4年度内) | - | 解体に向けて検討を行った | 解体に向けて準備を進める | 検討・準備 | → | → | → | → | → | → | → | |
| (県選困難区域) 総合体育館 | 町 | 県選困難区域内にあり、被害調査は未実施。 | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | |
| (特定復興再生拠点区域) 第2体育館 | 町 | 被害調査を実施。解体予定(時期未定) | - | 解体に向けて検討を行った | 解体に向けて検討を進める | 検討・準備 | → | → | → | → | → | → | → | |
| (特定復興再生拠点区域) 第3体育館 | 町 | 被害調査を実施。解体予定(時期未定) | - | 解体に向けて検討を行った | 解体に向けて検討を進める | 検討・準備 | → | → | → | → | → | → | → | |
| (県選困難区域) 武道館 | 町 | 被害調査を実施。 | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | |
| (県選困難区域) 増健センター | 町 | 被害調査を実施。解体予定(時期未定) | - | 解体に向けて検討を行った | 解体に向けて検討を進める | 検討・準備 | → | → | → | → | → | → | → | |
| (県選困難区域) 総合グラウンド | 町 | 県選困難区域内にあり、被害調査は未実施。町内の除染事業で発生した除染土壌等の仮置場として使用している。 | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | |
| (県選困難区域) 町営野球場 | 町 | モデル除染のための仮置場として現在使用している。 | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | |
| (県選困難区域) 熊町幼稚園 | 町 | 県選困難区域内にあり、被害調査は未実施。 | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | |
| (特定復興再生拠点区域) 大野幼稚園 | 町 | 被害調査を実施。解体予定(年度内) | - | 解体に向けて検討を行った | 解体に向けて準備を進める | 検討・準備 | → | → | → | → | → | → | → | |
| (県選困難区域) 熊町小学校 | 町 | 県選困難区域内にあり、被害調査は未実施。 | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | |
| (特定復興再生拠点区域) 大野小学校 | 町 | 被害調査を実施。用途廃止済み | 企業が入居する施設への改修工事の実施 | 用途廃止済み。一部校舎の解体を実施した。 | - | - | - | - | - | - | - | - | - | 令和4年3月に用途廃止 (大熊インキュベーションセンター) |
| (特定復興再生拠点区域) 大熊中学校 | 町 | 被害調査を実施。用途廃止済み | 校舎解体の着手 | 用途廃止済み。校舎解体に着手した。 | - | - | - | - | - | - | - | - | - | 令和4年3月に用途廃止 発着施設整備エリアとして活用予定 |
| (県選困難区域) 県立双葉特別高等学校 | 県 | 県選困難区域内にあり、被害調査は未実施。 | - | 今後のあり方の検討 | 選着予定解除後、住民の帰還状況、小中学校の再開状況を考慮しながらあり方を検討する。 | - | - | - | - | - | - | - | - | 県選困難区域内にあることから休校中としている。(選着指示解除後、住民の帰還状況、小中学校の再開状況を考慮しながらあり方を検討する。) |

大熊町のインフラ復旧状況（令和3年度末現在） ※帰還困難区域を除く

| 工 種 | 復旧の状況 | 内 容 | (参考) 事業完了時期 |
|----------------------------|-------------------------------|--|----------------------------------|
| 道路(町管理) | ◎ | (復旧済 5箇所) / (被災 5箇所) | R元年度 |
| 河川 (市町村管理) | — | | |
| 漁港 | | | |
| 海岸 | | | |
| 防災林 | — | | |
| 上水道 (双葉地方水道 企業団管理) | ◎ 使用再開 (平成28年8月) | 大川原地区へ給水 | H28年度末 |
| 工業用水道 (双葉地方水道 企業団管理) | ▽ | | |
| 下水道 | ○ 大川原地区のみ 使用再開 (H28) | 大川原地区のみ復旧済 | 未定 |
| 農地・ 農業用施設 | ○ | [用水路]復旧済 0箇所/被災 調査中 箇所 [ため池]復旧済 3箇所/被災 5 箇所 ため池 (内 2 箇所 災害査定済) | 溜池除染 里山再生事業 調整中 |
| 公共施設 | ◎ | [復旧済] 役場庁舎 (新設) [復旧済] 消防団屯所 1件、防火水槽 7件、消火栓 6件 [復旧済] 交流施設 (新設) | R元年5月 R元年5月 R3年10月 |
| 医療福祉施設 | ◎ | [復旧済] 診療所 (新設) [復旧済] 認知症高齢者グループホーム (新設) [復旧済] 住民福祉センター (新設) | R3年2月 R2年4月 R2年2月 |
| 文教施設 | ○ | 学びの舎ゆめの森 (幼保小中) (新設) | R5年度 |
| 観光施設 | ◎ | [復旧済] 宿泊温浴施設 (新設) | R3年10月 |
| 住宅 | ○ | [復旧済] 復興公営住宅 (新設) [復旧済] 再生賃貸住宅 (新設) [復旧済] 復興公営住宅第2期 (新設) 戸建て住宅 (新設) | R元年6月 R元年10月 R2年5月 R4年度 |
| 公営交通 | ◎ | [復旧済] 町内バスの運行 (新設) | R3年4月 |
| 除染(国) | ◎ | [実施済] 面的除染が完了 | H26年3月 |
| 廃棄物処理(国) | ○ | ・被災家屋等の解体撤去工事を実施中(127件解体済/129件申請受付済) ・仮設焼却施設 稼働中 | 未定 |

【凡例】◎：復旧済・機能回復済、○：復旧中・建設中、△：調査計画中、▽：未着手、—：該当なし、被災なし

大熊町のインフラ復旧状況（令和3年度末現在） ※特定復興再生拠点

| 工 種 | 復旧の状況 | 内 容 | (参考) 事業完了時期 |
|----------------------------|--------------------------|--|----------------|
| 道路(市町村管理) | ▽ | (復旧済 0箇所) / (被災 51箇所) | 未定 |
| 河川(市町村管理) | | | |
| 河川(県管理) | | | |
| 漁港 | | | |
| 海岸 | | | |
| 防災林 | | | |
| 上水道 (双葉地方水道 企業団管理) | ○ 一部使用開始 (令和3年12月) | 特定復興再生拠点区域(主に下野上地区・野上地区)の 配水管復旧 | (R4年度) |
| | ○ 一部使用開始 (令和3年12月) | 特定復興再生拠点区域(主に小入野地区)の配水管復旧 | (R4年度) |
| 工業用水道 (双葉地方水道 企業団管理) | ▽ | [送水]未着手 | |
| 下水道 | ○ | (復旧済 2箇所) / (被災 5箇所) ※特定環境公共下水 1箇所(機能回復済) 農業集落排水施設 6箇所(1箇所復旧済) 地域し尿処理施設 1箇所(機能回復済、第6処理区に統合、処理場 廃止) | R5年10月 |
| 農地・ 農業用施設 | ▽ | [用水路]復旧済 0箇所/被災 調査中 箇所 [ため池]復旧済 0箇所/被災 20箇所 | 未定 |
| 公共施設 | ○ | 旧役場庁舎(解体計画) | R4年度 |
| | | 消防団屯所5件(うち1件解体済み、4件解体予定) 防火水槽15件、消火栓71件 産業交流施設 | 未定 R6年度 |
| 医療福祉施設 | ▽ | 保健センター 復旧済 0箇所/被災1箇所 老人福祉センター 復旧済 0箇所/被災1箇所 保育所 復旧済 0箇所/被災1箇所 | 未定 |
| 文教施設 | ▽ | 大野幼稚園、図書館、文化センター、公民館、 スポーツセンター(体育館含む)、 県立双葉翔陽高等学校(県) | 未定 |
| 観光施設 | | | |
| 住宅 | △ | 賃貸集合住宅一戸建て住宅 町営住宅(解体済み2、解体予定6) | 未定 |
| 公営交通 | ◎ | [復旧済]町内バスの運行(新設) | R3年4月 |
| 除染(国) | ○ | 町の特定復興再生拠点区域復興再生計画に従って、除染 を実施中 | 未定 |
| 廃棄物処理(国) | ○ | 町の特定復興再生拠点区域復興再生計画に従って、廃棄 物処理を実施中 | 未定 |

【凡例】◎：復旧済・機能回復済、○：復旧中・建設中、△：調査計画中、▽：未着手、—：該当なし、被災なし

大熊町のインフラ復旧状況（令和3年度末現在） ※帰還困難区域用

| 工 種 | 復旧の状況 | 内 容 | (参考) 事業完了時期 |
|--------------------------|-------|---|----------------|
| 道路 (市町村管理) | ▽ | 中間貯蔵施設に繋がる道路は国が随時補修 詳細な被害の把握ができていない | 未定 |
| 河川 (市町村管理) | ▽ | 詳細な被害の把握ができていない | 未定 |
| 河川 (県管理) | △ | (復旧済 0河川) / (被災 2河川) | 未定 |
| 漁港 | | | |
| 海岸 | ○ | (建設海岸) (復旧済 1海岸) / (被災 3海岸) | 未定 |
| 防災林 | | | |
| 上水道 (双葉地方水道 企業団管理) | | | |
| 下水道 | ▽ | (復旧済 0箇所) / (被災 3箇所) 農業集落排水施設 3箇所(2箇所廃止済) | 未定 |
| 農地・ 農業用施設 | ▽ | [用水路]復旧済 0箇所 [ため池]復旧済 0箇所 詳細な被害の把握ができていない | 未定 |
| 公共施設 | ▽ | 消防団屯所 12件、防火水槽 41件、消火栓 65件 詳細な被害の把握ができていない | 未定 |
| 医療福祉施設 | ▽ | 特別養護老人ホーム※環境省へ売却 児童館 復旧済 0箇所/被災 1箇所 | 未定 |
| 文教施設 | ▽ | 熊町小学校、熊町幼稚園 詳細な被害の把握ができていない | 未定 |
| 観光施設 | ▽ | 原子力発電所、ふれあいパークおおくま 詳細な被害の把握ができていない | 未定 |
| 住宅 | ▽ | 町営住宅 3 (国に移転済み 2) | 未定 |
| 除染(国) | | | |
| 廃棄物処理(国) | | | |

【凡例】◎：復旧済・機能回復済、○：復旧中・建設中、△：調査計画中、▽：未着手、—：該当なし、被災なし

福島県 双葉町

(基本方針)

- 令和4年春ごろの居住開始時期に向けて、「住む拠点」である駅西地区生活拠点事業におけるインフラ整備についても進めていく。
- 双葉町の公共インフラは、「働く拠点」である中野地区復興産業拠点の整備に伴って必要となる道路、上下水道等の復旧を最優先とし、関係事業者との連携により早期機能回復に取り組む。
- さらに、双葉町復興まちづくり計画(第二次)を踏まえ策定した双葉町・特定復興再生拠点区域復興再生計画に基づき、放射線量の低減状況を基準として各種事業の計画検討を進めるとともに、除染、そして生活インフラの復旧・整備を実施し、帰還可能な環境を早期に整備する。

(復旧の概況)

- 特定復興再生拠点区域で上下水道や道路などインフラ復旧が整ったことなどにより、町の一部で避難指示が解除され、住民の帰還・居住が始まった。
- また、中間貯蔵施設への除去土壌等の輸送ルートとなっている道路については、避難指示解除区域・帰還困難区域を通じて、通行可能となっている。
- 上記以外の公共インフラについては、一部復旧済みまたは応急復旧により暫定供用が可能となっているが、今後順次被害調査を行い、災害査定を受検し、復旧工事に着手する予定である。

インフラ復旧の工程表(福島県双葉町)

令和4年3月末現在

●.....▶:工程が見込めるもの
 ●.....▶▶:工程が現時点で見込みにくいもの

| 事業 | 整備主体 | 被災/稼働状況 | R3年度の目標 (R3.9.10公表) | R3年度に実施 したこと(成業) | R4年度に実施 すること(目標) | R5年度 | | | | R6年度 | | | R7年度以降 | 備考・ポイント等 | | |
|-----------------------------|------|--|--|---|---|--|----|-----|----|------|----|-----|--------|----------|--------------------------------|----------------------------------|
| | | | | | | 4月 | 7月 | 10月 | 1月 | 4月 | 7月 | 10月 | | | 1月 | |
| 海岸 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 海岸帰還困難区域を除く地域 | 県 | 災害査定済み | | | | | | | | | | | | | | |
| 海岸帰還困難区域 (細谷地区、郡山中野地区) | 県 | 災害査定済み | 1地区海岸の復旧工事を進める。(郡山中野地区海岸) 1地区海岸の用地取得を進める。(細谷地区海岸) | 1地区海岸の工事完了。 (郡山中野地区海岸) 1地区海岸の事業説明実施。 (細谷地区海岸) | 1地区海岸の用地取得を進め、工事に着手する。 (細谷地区海岸) | 細谷地区海岸 用地取得 ●.....▶▶ 災害復旧工事 ●.....▶▶ | | | | | | | | | 双葉中浜地区海岸: R1年度復旧済 中間貯蔵施設区域内 | |
| 河川 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 前田川 帰還困難区域を除く地域 | 県 | 災害査定済み | 残工事を施工し堤防の完成を図る。 | 工事完了 ※R3は護岸工を実施 | | | | | | | | | | | R3工事完了 | |
| 下水道施設 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| (避難指示解除準備区域) 下水道管渠等復旧事業 | 双葉町 | 震災による管渠の不等沈下や隆起により汚水流下の阻害、管体やマンホールの損壊による漏水や湧水、マンホールポンプについては震災時より無通電のため調査未実施。津波被災地では、管内の土砂等の堆積。 | ①拠点内の下水道路の被害調査、測量設計を実施し災害査定を実施する。 ②拠点内の災害復旧工事を完了 | ①拠点内の下水道路の被害調査、測量設計を実施し災害査定を実施、維持補修工事の設計積算。 ②拠点内の災害復旧工事を完了 | 維持補修工事の実施 | | | | | | | | | | 令和3年度完了 | |
| (帰還困難区域・拠点関連) 下水道管渠等復旧事業 | 双葉町 | | | | | | | | | | | | | | | 特定復興拠点内の既存管の下水道施設災害復旧事業の実施、不明水対策 |
| 双葉浄化センター(処理場) | 双葉町 | | 工事の年内完成 | 工事の発注 | 避難指示解除までの工事完成 | | | | | | | | | | | |
| 農地・農業用施設 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 農道 | 双葉町 | 盛土部崩落 | ①農道松倉線 除草及び路面清掃実施予定 ②農道上羽鳥・寺沢線農道橋点検業務委託 | ②農道上羽鳥・寺沢線農道橋点検業務 | ①農道松倉線 除草及び路面清掃(算上2,036㎡、側溝等清掃2,036㎡) | | | | | | | | | | | 災害復旧事業に該当する農道については、今後検討していきたい。 |
| ため池 | 双葉町 | 震災による堤体の沈下、クラック、法止め積ブロックのズレ、斜樋・除波ブロックのズレ、斜樋や洪水吐コンクリートのクラック等被災状況は把握している。ため池栓を抜き水位低下させている。 | ①設置のため池底質除去工事 ②設置のため池堤体調査業務 | ①設置のため池底質除去工事 ②設置のため池堤体調査業務 ともに、福島県で実施 | | | | | | | | | | | | |
| 農地・農業用排水路 | 双葉町 | 沿岸部はガレキ・土砂の堆積、一部損壊 | ①伐木・除根工事業務 ②水路等環境整備 ③営農再開支援水利施設等業務委託・工事 ④基礎整備測量設計業務 | ①伐木・除根工事業務(山田地区) ②水路等環境整備(石熊地区) ③営農再開支援水利施設等業務委託・工事 ④基礎整備測量設計業務(上羽鳥地区) | ①伐木・除根工事 ④基礎整備工事 | | | | | | | | | | | |
| 林道 | 双葉町 | 盛土部崩落 | ①林道孫沢線橋梁点検(2橋) ②林道七日沢線橋梁点検(2橋) | ①林道孫沢線橋梁点検(1橋) ②林道七日沢線橋梁点検(2橋) | ①林道北沢線橋梁点検(2橋) ②林道名荷沢線橋梁点検(1橋) ③林道沢入線橋梁点検診断(1橋) | | | | | | | | | | | 災害復旧事業に該当する林道については、今後検討していきたい。 |

→ : 工程が見込めるもの
 ●.....▶ : 工程が現時点で見込みにくいもの

| 事業 | 整備主体 | 被災/稼働状況 | R3年度の目標 (R3.9.10公表) | R3年度に実施 したこと(成業) | R4年度に実施 すること(目標) | R5年度 | | | R6年度 | | | R7年度以降 | 備考・ポイント等 | | |
|--|------|-----------------------------------|---|--|---|------|----|-----|------|----|----|--------|----------|--|---------|
| | | | | | | 4月 | 7月 | 10月 | 1月 | 4月 | 7月 | | | 10月 | 1月 |
| 道路(市町村道) | | | | | | | | | | | | | | | |
| (避難指示解除準備区域) 森合橋(宮ノ脇・森合線) | 双葉町 | 津波による流出(地震による崩落) | 橋脚(橋橋工含む)施工、橋梁上部工発注 | 橋脚(橋橋工含む)下部工施工完了、橋梁上部工発注 | 上部工・擦り付け道路工の完了 | | | | | | | | | 令和4年度完了予定 | |
| 町道災害復旧 | 双葉町 | 舗装損傷、舗装陥没、路肩陥没、舗装流出、側溝損傷 | ・災害復旧工事を道路8箇所、橋梁1箇所実施 ・災害査定を2箇所実施 | ・災害復旧工事を道路8箇所完了、橋梁1箇所発注 ・災害査定を1箇所実施 | ・災害復旧工事を道路3箇所、橋梁1箇所実施 ・災害査定を1箇所(6路線)実施 | | | | | | | | | 特定復興再生拠点内を優先に実施 拠点外の帰還困難区域については未 定 | |
| 復興シンボル軸(町道長塚・面竹線、町道久保前・中浜線、町道羽山前・沼ノ沢線) | 県 | 路面陥没、舗装クラック、ガードレール津波流失を復興関連道路改良新設 | | | | | | | | | | | | 令和2年度完了 | |
| (帰還困難区域) 深谷こ糸人道橋線 | 双葉町 | 桁ずれによる落橋のおそれ | | | | | | | | | | | | 平成28年度復旧済 | |
| (帰還困難区域) (仮称)双葉インター線 | 双葉町 | | | | | | | | | | | | | 令和元年度完了 | |
| (帰還困難区域) 宮田橋(中田・観音堂線、長塚・面竹線) | 双葉町 | 橋台が地震により被災 | 橋梁上部工、道路改良工事(舗装工事除く)の完了 | 橋梁上部工、道路改良工事(舗装工事除く)完了 | 舗装工事の完了 | | | | | | | | | 令和4年度末供用開始予定 | |
| (帰還困難区域) 前田・長塚線 | 双葉町 | 震災前より改良工事継続 | ・道路詳細設計 L=300m分の実施 ・支障物移転補償 | ・道路詳細設計 L=300m分の実施 ・支障物移転補償 | ・用地測量の実施 ・地質調査の実施 ・道路改良工事の実施 | | | | | | | | | 縮形不良箇所の拡幅工事を先行し施工 | |
| 海岸防災林の再生 | | | | | | | | | | | | | | | |
| 防災林造成事業 | 県 | ・海岸防災林の森林が津波により流失した。 | ・植生基盤盛土工 6.80ha完了 ・植栽工 0.88ha完了 (前年度繰越分) 8.52ha完了 | ・植生基盤盛土工 0.01ha完了 (前年度繰越分) 3.50ha着手 2.19ha完了 ・植栽工 0.67ha完了 (前年度繰越分) 4.16ha着手 2.22ha完了 | ・植生基盤盛土工 1.37ha完了 (前年度繰越分) ・植栽工 1.94ha完了 (前年度繰越分) 2.60ha着手 2.60ha完了 | | | | | | | | | 令和4年度完了予定 | |
| 治山施設災害復旧事業 | 県 | ・防潮工及び林帯地盤が津波により被災した。 | | | | | | | | | | | | | 令和2年度完了 |
| 役場・公共施設 | | | | | | | | | | | | | | | |
| (帰還困難区域・拠点関連) コミュニティセンター機能回復事業 | 双葉町 | 震災による被災及び原子力災害による汚染、放置に係る劣化 | | | | | | | | | | | | | |
| (避難指示解除準備区域) 産業交流センター整備事業 | 双葉町 | | | | | | | | | | | | | | |
| 消防施設(屯所・収納庫、防火水槽、消火栓) | 双葉町 | 全域被災/調査中 (一部稼働済) | 状況調査の実施(継続) 水道企業団による配水管布設替工事及び配水管修繕工事の一部消火栓の復旧 2022年の特定復興再生拠点区域の避難指示解除後の居住人口見込を踏まえ、分面の再編及び消防施設(第1・2分団)の整備(継続) | 水道企業団による配水管布設替工事及び配水管修繕工事による一部消火栓の復旧 消防防火水槽の帰還困難区域への移設 消防施設(第1・2分団)の設計業務委託発注(継続) | 状況調査の実施(継続) 既存屯所の解体(環境省解体予定)水道企業団による配水管布設替工事及び配水管修繕工事による一部消火栓の復旧(継続) 消防施設(第2分団)の用地取得 消防施設(第1・2分団)の整備 消防施設(第1・2分団)の設置 町職員による機能別消防団の設置検討 | | | | | | | | | 帰還困難区域については継続して復旧、再整備 順次消防施設を復旧・整備 | |

→ : 工程が見込めるもの ●.....▶ : 工程が現時点で見込みにくいもの

| 事業 | 整備主体 | 被災/稼働状況 | R3年度の目標 (R3.9.10公表) | R3年度に実施 したこと(成業) | R4年度に実施 すること(目標) | R5年度 | | | R6年度 | | | R7年度以降 | 備考・ポイント等 | |
|-------------------------------------|------|---|---|---|---|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|----------|---|
| | | | | | | 4月 | 7月 | 10月 | 1月 | 4月 | 7月 | | | 10月 |
| 医療福祉施設 | | | | | | | | | | | | | | |
| 双葉児童館 | 双葉町 | 現時点で復旧の有無を検討中 | 児童館：取壊しも視野に復旧の有無検討。 | 解体申請 | 跡地利用、後継施設の検討 | ●.....▶ | | | | | | | | |
| 文教施設 | | | | | | | | | | | | | | |
| 3施設(双葉南小学校、双葉北小学校、双葉中学校) | 双葉町 | 稼働なし | 委員会提示の方向性の検討 | 委員会提示の方向性を踏まえ庁内会議の場で方針を固める。 | 方針が固まった施設については、順次改修等に向けたスケジュールの作成に取り組み | ●.....▶ | | | | | | | | |
| 双葉高等学校 | 県 | 現在稼働なし 被災状況【通路ジョイント部分破損、地面及び壁の亀裂等】 | 備考欄のとおり | 今後のあり方の検討 | 避難指示解除を待たうえて、住民帰還、小中学校の再開状況の様子を見ていく。 | | | | | | | | | 帰還困難区域内にあることから休校中としている。(避難指示解除後、住民の帰還状況(小中学校の再開状況)を考慮しながらあり方を検討する。) |
| 除染 | | | | | | | | | | | | | | |
| 先行除染 | 国 | 幼稚園、病院施設等の除染実施済み | | | | | | | | | | | | |
| 面的除染等 | 国 | 平成28年3月面的除染完了 | | 必要に応じて、除染のフォローアップを実施した。 | 必要に応じて、除染のフォローアップを実施する。 | | | | | | | | | |
| 仮置場 | 国 | 除染仮置場(3ヶ所) | 除去土壌等の管理、中間貯蔵施設等への輸送、原状回復 | 除去土壌等の管理、中間貯蔵施設等への輸送、原状回復を実施した | 除去土壌等の管理、中間貯蔵施設等への輸送、原状回復 | ●.....▶ | ●.....▶ | ●.....▶ | ●.....▶ | ●.....▶ | ●.....▶ | ●.....▶ | ●.....▶ | |
| (帰還困難区域)特定復興再生拠点区域内の除染・廃棄物処理 | 国 | 計画に基づき、除染・廃棄物処理を実施し、事後モニタリング、フォローアップ除染を実施 | 計画に基づき、除染・廃棄物処理を実施し、事後モニタリング、フォローアップ除染を実施する。 | 計画に基づき、除染・廃棄物処理を実施し、事後モニタリング、フォローアップ除染を実施する。歩率(申請受付件数比)は約85%。 | 計画に基づき、除染・廃棄物処理を実施し、事後モニタリング、フォローアップ除染を実施する。 | ●.....▶ | ●.....▶ | ●.....▶ | ●.....▶ | ●.....▶ | ●.....▶ | ●.....▶ | ●.....▶ | 計画の期間、令和4年8月31日まで(令和4年春季までの避難指示解除)必要に応じて、除染のフォローアップを実施 |
| 災害廃棄物処理 | | | | | | | | | | | | | | |
| 対策地域内廃棄物処理 | 国 | (仮設焼却施設)稼働中 | 可燃性廃棄物の焼却処理を実施 | 可燃性廃棄物の焼却処理を実施した。 | 可燃性廃棄物の焼却処理を実施 | ●.....▶ | | | | | | | | |
| 復興拠点 | | | | | | | | | | | | | | |
| (避難指示解除準備区域)中野地区復興産業拠点整備事業 | 双葉町 | 津波により地区の一部が流出 | 用地取得(継続) ・実施設計・造成工事(継続) ・第2期分供用開始 | 用地取得(継続) ・実施設計・造成工事(継続) | 用地取得(継続) ・実施設計・造成工事(継続) | ●.....▶ | | | | | | | | 平成30年度に一部供用開始 令和2年度に第一期開発区域全域の供用開始 |
| (帰還困難区域・拠点関連)双葉駅西地区生活拠点等整備事業(住宅団地等) | 双葉町 | | 用地取得 ・変更実施設計(造成工事) ・建築工事(住宅整備) ・造成工事 | 用地取得 ・変更実施設計(造成工事) ・建築工事(住宅整備) ・造成工事 | 用地取得 ・建築工事(住宅整備) ・変更実施設計(造成工事) ・住宅への入居 | ●.....▶ | | | | | | | | 令和2年3月一部供用開始(駅東西自由通路、駅東通路) |

双葉町のインフラ復旧状況（令和3年度末現在） ※帰還困難区域を除く

| 工 種 | 復旧の状況 | 内 容 | (参考) 事業完了時期 |
|--------------------------|-----------------------|---|----------------|
| 道路 (市町村管理) | ○ | 復旧 0 箇所／被災 1 箇所（森合橋） | 令和 4 年度 |
| 河川 (市町村管理) | | 該当なし | |
| 河川 (県管理) | ◎ | 復旧済 1 箇所／被災 1 箇所 | 令和 3 年度 |
| 漁港 | | 該当なし | |
| 海岸 | ◎ | 復旧済 2 箇所／被災 2 箇所 | 令和元年度 |
| 海岸防災林 | | 該当なし | |
| 海岸防災林 | ○ | 海岸防災林造成（20.2ha） ・植生基盤盛土工 18.83 /20.2ha ・植栽工 13.16 /17.7ha | 令和 4-3 年度 |
| 上水道 (双葉地方水道 企業団管理) | ◎ 復旧済 (令和 3 年度) | [配水] 復興産業拠点（中野地区）への給水 | 令和 3 年度 |
| 下水道 | ○ | シンボル軸上の一部管路等工事（管路 3 箇所） | 令和 4 年度 |
| 農地・ 農業用施設 | ○ | [用排水路] 中浜用水路の一部の調査設計（調査・設計済、 査定・工事は R4 以降） | 未定 |
| 公共施設 | ◎ | 産業交流センター開業 | 令和 2 年度 |
| | △ | [消防施設] 新設および復旧（防火水槽 6 件、消火栓 17 件） | 未定 |
| 医療福祉施設 | | 該当なし | |
| 文教施設 | | 該当なし | |
| 観光施設 | | 該当なし | |
| 住宅 | | 該当なし | |
| 除染 | ◎ | [実施済] 面的除染が完了 | 平成 28 年 3 月 |
| 廃棄物処理 | ○ | ・被災家屋等の解体撤去工事を実施中（38 件解体撤去済 /42 件申請受付済） ・仮設焼却施設 稼働中 | 未定 |

【凡例】◎：復旧済・機能回復済、○：復旧中・建設中、△：調査計画、▽：未着手、—：該当なし、被災なし

双葉町のインフラ復旧状況（令和3年度末現在） ※特定復興再生拠点

| 工 種 | 復旧の状況 | 内 容 | (参考) 事業完了時期 |
|--------------------------|-------------------------|--|---|
| 道路 (市町村管理) | ○ | 災害復旧済17箇所／被災29箇所 新設・改良3箇所（双葉インター線、宮田橋、前田長塚線） | 災害復旧令和5年 双葉インター線令和元年度末 宮田橋令和2年度末 前田長塚線未定 |
| 河川 (市町村管理) | | 該当なし | |
| 漁港 | | 該当なし | |
| 海岸 | | 該当なし | |
| 海岸防災林 | | 該当なし | |
| 上水道 (双葉地方水道 企業団管理) | ◎ 復旧済 (令和3年度) | 復興産業拠点（中野地区）への配水管路復旧 | (令和3年度) |
| 上水道 (双葉地方水道 企業団管理) | ○ 一部使用開始 (令和4年1月) | 特定復興再生拠点[新市街地ゾーン・まちなか再生 ゾーン]配水管路復旧 | (令和4年度内) |
| 下水道 | ○ | 水処理センター建設中、双葉1号汚水幹線の災害復旧・ 維持補修工事 | 災害復旧令和3年 水処理センター・ 維持補修令和4年 |
| 農地・ 農業用施設 | △ | [用排水路] 被災調査済2箇所／調査依頼2箇所 (設計・査定・工事はR4以降) [ため池] 被災調査済2箇所／調査依頼2箇所 (うち1箇所R1調査・設計済、その他の設計・査定・工事はR4以降) [農道] 被災調査済2路線／調査依頼3路線 (うち1路線はR4以降調査予定、その他の設計・査定・工事はR5以降) | 未定 |
| 公共施設 | ○ | コミュニティセンター一部機能回復 | 未定 |
| | △ | [消防施設] 新設及び復旧（防火水槽1基（仮設）、消火栓64件） 第1分団・第2分団の屯所設計業務委託は令和3年度 事業繰越、工事は令和4年度事業計画 | 未定 |
| 医療福祉施設 | △ | まどか保育園：法人の施設であるため、復旧の有無は不明。児童館：解体 | |
| 文教施設 | ▽ | 3施設（双葉南小学校、双葉北小学校、双葉中学校）解体も踏まえ、活用方法を検討中 | |
| | | 双葉高等学校（今後の方針は帰還状況を見据えて検討） | 未定 |
| 観光施設 | | 該当なし | |
| 住宅 | | 該当なし | |
| 除染 | ○ | 町の特定復興再生拠点区域復興再生計画に基づき、除染 を実施中 | 未定 |
| 廃棄物処理 | ○ | 町の特定復興再生拠点区域復興再生計画に基づき、廃棄物 処理を実施中 | 未定 |

【凡例】◎：復旧済・機能回復済、○：復旧中・建設中、△：調査計画中、▽：未着手、—：該当なし、被災なし

双葉町のインフラ復旧状況（令和3年度末現在） ※帰還困難区域

| 工 種 | 復旧の状況 | 内 容 | (参考) 事業完了時期 |
|--------------------------|-------|--|----------------|
| 道路 (市町村管理) | ○ | 災害復旧済 22 箇所／被災 28 箇所 | 未定 |
| 河川 (市町村管理) | ▽ | 未着手 | |
| 漁港 | | 該当なし | |
| 海岸 | ○ | 復旧済 1 箇所／被災 2 箇所 (郡山中野地区海岸は完了、細谷地区海岸は未定) | 未定 |
| 海岸防災林 | | 該当なし | |
| 上水道 (双葉地方水道 企業団管理) | ◎ | [双葉 IC]への管路復旧 | 令和元年度末 |
| 下水道 | ▽ | 未着手 | |
| 農地・ 農業用施設 | △ | [用排水路] 被災調査済 6 箇所／調査依頼 7 箇所 (設計・査定・工事は R4 以降) [ため池] 被災調査済 2 3 箇所／調査依頼 2 3 箇所 (設計・査定・工事は R4 以降) [農道] 被災調査済 2 路線／調査依頼 3 路線 (うち 1 路線は R4 以降調査予定、その他の設計・査定・工事は R5 以降) | 未定 |
| 公共施設 | △ | [消防施設] 新設および復旧(防火水槽 6 件(仮設)、消火栓 12 件) 被災状況調査中(地区公民館併設は除く) | 未定 |
| 医療福祉施設 | ▽ | 未着手 | |
| 文教施設 | | 該当なし | |
| 観光施設 | | 該当なし | |
| 住宅 | | 該当なし | |
| 除染 | | | |
| 廃棄物処理 | | | |

【凡例】◎：復旧済・機能回復済、○：復旧中・建設中、△：調査計画、▽：未着手、—：該当なし、被災なし

双葉地方広域市町村圏組合

(基本方針)

- 双葉地方広域市町村圏組合の公共インフラについて、施設が老朽化している南部衛生センターについては、建て替えが必要なことから、施設の更新を進めている。火葬場については、既存施設の復旧工事を進め、令和3年10月に再開した。
- 避難者支援としての双葉郡立診療所については、北好間診療所が平成29年12月に開業、勿来診療所が平成30年4月に開業している。
- 消防施設については、葛尾出張所が平成30年4月に運用開始、富岡消防署が平成30年7月に運用開始している。また、浪江消防署は、既存施設の解体工事の完成時期が遅れたことにより、新庁舎での業務は平成30年4月に仮運用を開始し、平成30年7月に全工事が完成している。

様式2「工程表」

令和4年3月末現在

インフラ復旧の工程表(福島県双葉地方広域市町村圏組合) ●.....→ :工程が見込めるもの → :工程が現時点で見込みにくいもの

| 事業 | 整備主体 | 被災/稼働状況 | R3年度の目標 (R3.9.10公表) | R3年度に実施 したこと(成業) | R4年度に実施 すること(目標) | R5年度 | | | | R7年度以降 | 備考・ポイント等 |
|-----------------------------------|--------------|---|---|---|---|-----------------|----|-----|----|--------|----------------|
| | | | | | | 4月 | 7月 | 10月 | 1月 | | |
| ごみ処理(焼却施設) | | | | | | | | | | | |
| (楢葉町) 南部衛生センター | 双葉地方広域市町村圏組合 | 稼働中 | 引き続き、特定廃棄物埋立処分施設への焼却灰等の搬出を行う。 | 環境省にて、焼却灰等を特定廃棄物埋立処分施設へ搬出した。 | 引き続き、環境省にて不燃ごみ等を中心した特定廃棄物埋立処分施設へ搬出する。 | 不燃ごみ等の搬出 | → | → | → | → | |
| (楢葉町) 南部衛生センター | 双葉地方広域市町村圏組合 | 稼働中 昭和56年3月の竣工から37年を経過することから、現施設敷地内に改築を予定。 | 新ごみ焼却施設整備工事に着手する。 | 一般競争入札により落札業者が決定した。解体工事を10月に着手し、建設工事は実施設計中。 | 解体工事の竣工及び建設工事の着工を予定している。 | 施設整備工事 | → | → | → | → | 事業完了目標年、令和6年度末 |
| (浪江町) 北部衛生センター | 双葉地方広域市町村圏組合 | 稼働中 | 特定廃棄物埋立処分施設への焼却灰等の搬出を開始する。 | 特定廃棄物埋立処分施設への焼却灰等の搬出を開始した。 | 引き続き、特定廃棄物埋立処分施設への焼却灰等の搬出を行う。 | 焼却灰等の搬出 | → | → | → | → | |
| ごみ処理(最終処分場) | | | | | | | | | | | |
| (大熊町) クリーンセンターふたば | 双葉地方広域市町村圏組合 | 第一原案から3km圏内 停電により機器類の作動の確認は出来ないが目標では建物一部被災 | 引き続き、環境省が施設復旧等の整備工事を進める。 | 環境省が施設復旧等の整備工事を進めた。 | 引き続き、環境省が施設復旧等の整備工事を進め、令和4年11月末までの施設復旧を目指す。 | 復旧工事 | → | → | → | → | 事業完了目標年、令和4年度内 |
| し尿処理 | | | | | | | | | | | |
| (高岡町) 双葉環境センター (汚泥再生処理センター) | 双葉地方広域市町村圏組合 | 停電により機器類の作動の確認は出来ないが目標では建物一部被災 ※現在他区域で処理対応 | 発生した脱水汚泥について、下水道汚泥と同様に民間処分場で処分する。 | 発生した脱水汚泥について、下水道汚泥と同様に民間処分場で処分した。 | 発生した脱水汚泥について、下水道汚泥と同様に民間処分場で処分する。 | 脱水汚泥処理(民間処分場) | → | → | → | → | R2年度完了 |
| (高岡町) 旧双葉環境センター | 双葉地方広域市町村圏組合 | 場内道路及び法面が崩落停電により機器類の作動の確認は出来ないが目標では建物一部被災 | 汚泥処理について、広野町、楢葉町、高岡町、浪江町及び双葉環境センターの下水道等汚泥を民間処分場で処分する。 | 汚泥処理について、広野町、楢葉町、高岡町、浪江町及び双葉環境センターの下水道等汚泥を民間処分場で処分した。 | 汚泥処理について、広野町、楢葉町、高岡町、浪江町及び双葉環境センターの下水道等汚泥を民間処分場で処分する。 | 下水道等汚泥処理(民間処分場) | → | → | → | → | |
| 火葬場 | | | | | | | | | | | |
| (双葉町) 斎場(聖香苑) | 双葉地方広域市町村圏組合 | 僻遠困難区域内 停電により機器類の作動の確認は出来ないが目標では建物一部被災 | 引き続き、既存施設の再開に向けた復旧工事を進め、令和3年度下半期の再開を目指す。 | 既存施設の復旧工事を進め、令和3年10月に再開した。 | | | | | | | R3年度完了 |
| 准看護師養成施設 | | | | | | | | | | | |
| (双葉町) 公立双葉看護学院 | 双葉地方広域市町村圏組合 | 僻遠困難区域内 停電中は建物一部被災 仮校舎で開校中 | — | — | — | | | | | | 仮校舎はH28年度完了 |
| 双葉郡立診療所 | | | | | | | | | | | |
| (いわき市) 双葉郡立好間診療所 | 双葉地方広域市町村圏組合 | 開業中 | — | — | — | | | | | | H29年度完了 |
| (いわき市) 双葉郡立勿来診療所 | 双葉地方広域市町村圏組合 | 開業中 | — | — | — | | | | | | H29年度完了 |

双葉地方広域市町村圏組合のインフラ復旧状況（令和3年度末現在）【帰還困難区域外】

| 工 種 | 復旧の状況 | 内 容 | (参考) 事業完了時期 |
|-------------------------|------------|---|----------------|
| ごみ処理： 南部衛生センタ ー | ◎ 災害復旧済 | ・稼働中（不燃ごみ等は特定廃棄物埋立処分施設へ搬出）。 ・老朽化に伴う、焼却施設の更新を行っている。 | 令和6年度末 |
| し尿処理： 汚泥再生処理セ ンター | ◎ 災害復旧済 | ・稼働中。 | |
| し尿処理： 旧双葉環境セン ター | ◎ 解体完了 | ・環境省の直轄事業として施設解体工事完了。 | |
| 郡立診療所： 好間診療所 | ◎ 工事完了 | ・開業中。 | |
| 郡立診療所： 勿来診療所 | ◎ 工事完了 | ・開業中。 | |
| 地方会館： 双葉地方会館 | ◎ 災害復旧済 | ・稼働中。 | |
| 消防庁舎： 浪江消防署 | ◎ 災害復旧済 | ・稼働中。 | |
| 消防庁舎 葛尾出張所 | ◎ 災害復旧済 | ・稼働中。 | |
| 双葉消防本部 消防指令センタ ー | ◎ 機能回復済 | ・稼働中。 ・高機能消防指令センターの今後の整備の在り方について、財源も含めて検討を行っている。 | |

【凡例】◎：復旧済・機能回復済、○：復旧中・建設中、△：調査計画中、▽：未着手、—：該当なし、被災なし

双葉地方広域市町村圏組合のインフラ復旧状況（令和3年度末現在）【帰還困難区域内】

| 工 種 | 復旧の状況 | 内 容 | (参考) 事業完了時期 |
|---------------------------|--------------|-------------------------------|----------------|
| ごみ処理： 北部衛生センタ ー | ◎ 災害復旧済 | ・稼働中（焼却灰等を特定廃棄物埋立処分施設へ搬出開始）。 | |
| 最終処分場： クリーンセンタ ーふたば | ○ 復旧中 | ・環境省が各種調査結果に基づき、施設復旧等の整備を進めた。 | 令和4年度内 |
| 汚泥処理： 汚泥リサイクル センター | △ 代替施設協議中 | ・代替施設等について関係機関と協議中。 | 未定 |

【凡例】◎：復旧済・機能回復済、○：復旧中・建設中、△：調査計画中、▽：未着手、—：該当なし、被災なし

| 事業 | 整備 主体 | 被災/稼働状況 | R3年度の目標 (R3.9.10公表) | R3年度に実施 したこと(成果) | R4年度に実施 すること(目標) | R4年度 | | | | R5年度 | | | | R6年度 | | | | R7年度以降 | 備考・ポイント等 |
|--|---------------|--|------------------------------|------------------------------|------------------------------|------|----|-----|----|------|----|-----|----|------|----|-----|----|--|----------|
| | | | | | | 4月 | 7月 | 10月 | 1月 | 4月 | 7月 | 10月 | 1月 | 4月 | 7月 | 10月 | 1月 | | |
| 富岡町内の供給 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 上水道 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 配水施設 (富岡南系配水池) | 双葉地方水 道企業団 | 応急復旧済、稼働中 | | | | | | | | | | | | | | | | 備考・ポイント等 | |
| 配水施設、給水施設 (主に本岡字赤木、上郡山 字滝ノ沢、上郡・木田) | 双葉地方水 道企業団 | 応急復旧済、稼働中 | | | | | | | | | | | | | | | | 平成25年度に復旧済み 南地区給水に必要な施設 | |
| 配水施設、給水施設 (主に下郡山字真壁・下 郡・原下) | 双葉地方水 道企業団 | 応急復旧済、稼働中 | | | | | | | | | | | | | | | | 平成25年度に復旧済み 南地区の一部 (平成26年10月から使用再開) | |
| 配水施設、給水施設 (主に上郡山字清水、小浜 字反町・大淵町) | 双葉地方水 道企業団 | 応急復旧済、稼働中 | | | | | | | | | | | | | | | | 平成26年度に復旧済み 南地区の一部 (平成28年10月から使用再開) | |
| 配水施設、給水施設 (主に小浜字中央、仏浜字 西原・養田、本岡字日向・ 中央一丁目二丁目) | 双葉地方水 道企業団 | 応急復旧済、稼働中 | | | | | | | | | | | | | | | | 平成27年度に復旧済み 南地区の一部 (平成27年8月から使用再開) | |
| 配水施設、給水施設 (主に上岡字上千里、高 津戸、本岡字沼名子) | 双葉地方水 道企業団 | 応急復旧済、稼働中 | | | | | | | | | | | | | | | | 平成27年度に復旧済み 南地区の一部 (平成27年10月から使用再開) | |
| 配水施設、給水施設 (馬の原、下千里・大菅・小 浜字ソノツ塘) | 双葉地方水 道企業団 | 応急復旧済、稼働中 | | | | | | | | | | | | | | | | 平成27年度に復旧済み 北地区給水に必要な施設 | |
| 配水施設、給水施設 (主に上岡字上千里・高 津戸、本岡字沼名子) | 双葉地方水 道企業団 | 応急復旧済、稼働中 | | | | | | | | | | | | | | | | 平成26年度に復旧済み 北地区給水に必要な施設 | |
| 配水施設、給水施設 (主に上岡字前川原・平 道地・大石原・外内・杉内・ 茂手木、本岡字岡ノ前・上 本町) | 双葉地方水 道企業団 | 応急復旧済、稼働中 | | | | | | | | | | | | | | | | 平成27年度に復旧済み 北地区の一部 (平成27年6月から使用再開) | |
| 配水施設、給水施設 (主に本岡字五ノ原、清水 前、大菅字蛇谷須・木平 塚の森南三丁目四丁目五 丁目) | 双葉地方水 道企業団 | 応急復旧済、稼働中 | | | | | | | | | | | | | | | | 平成27年度に復旧済み 北地区の一部 (平成27年10月から使用再開) | |
| 配水施設、給水施設 (主に小泉) | 双葉地方水 道企業団 | 応急復旧済、稼働中 | | | | | | | | | | | | | | | | 平成27年度に復旧済み 北地区の一部 (平成28年10月から使用再開) | |
| 配水施設、給水施設 (主に毛置・仏浜地区) | 双葉地方水 道企業団 | 津波被災地区 | 関係事業の復旧工程と調整 し、協議・工事を実施する | 関係事業の復旧工程と調整 し、協議・工事を実施した | 関係事業の復旧工程と調整 し、協議・工事を実施する | | | | | | | | | | | | | 令和3年度工事完了 | |
| (佛道西野地区・掘点開 運) | 双葉地方水 道企業団 | 目視により、被災判断で きる箇所もあるが、実際の 被災状況は不明 | 一部区域の被害調査・応急復 旧を継続実施する | 一部区域の被害調査・応急復 旧を継続実施した | 未復旧区域の被害調査・応急 復旧を継続実施する | | | | | | | | | | | | | 令和3年度に一部区域を除き復旧済 み (令和4年4月からの準備着泊に伴い 一部区域を除き使用再開) | |
| (佛道西野地区・掘点開 運) | 双葉地方水 道企業団 | 目視により、被災判断で きる箇所もあるが、実際の 被災状況は不明 | 一部区域の被害調査・応急復 旧を継続実施する | 一部区域の被害調査・応急復 旧を継続実施した | 未復旧区域の被害調査・応急 復旧を継続実施する | | | | | | | | | | | | | 令和3年度に一部区域を除き復旧済 み (令和4年4月からの準備着泊に伴い 一部区域を除き使用再開) | |

双葉地方水道企業団のインフラ復旧状況（令和3年度末現在）※帰還困難区域を除く

| 工 種 | 復旧の状況 | 内 容 | (参考) 事業完了時期 |
|---------------|----------------------------|-----------------------|----------------|
| 広野町内 上水道 | ○ 建設中 | 津波被災地区復興 | (R4 年度末) |
| 広野町内 工業用水道 | ◎ 使用再開 (平成 23 年度) | | |
| 檜葉町内 上水道 | ◎ 復旧済 (平成 30 年度) | 津波被災地区復興 | |
| 檜葉町内 工業用水道 | ◎ 使用再開 (平成 25 年度) | | |
| 富岡町内 上水道 | ◎ 復旧済 (令和 3 年度) | 津波被災地区復興 | (R3 年度末) |
| 富岡町内 工業用水道 | ◎ 復旧済 (平成 25 年度) | | |
| 大熊町内 上水道 | ◎ 使用再開 (平成 28 年 8 月) | 大川原地区への給水 | |
| 大熊町内 工業用水道 | ▽ 未着手 | [送水] 未着手 | |
| 双葉町内 上水道 | ◎ 復旧済 (令和 3 年度) | [配水] 復興産業拠点（中野地区）への給水 | (R3 年度末) |

【凡例】◎：復旧済・機能回復済、○：復旧中・建設中、△：調査計画中、▽：未着手、—：該当なし、被災なし

双葉地方水道企業団のインフラ復旧状況（令和3年度末現在）【特定復興再生拠点】

| 工 種 | 復旧の状況 | 内 容 | (参考) 事業完了時期 |
|---------------|--------------------------|---|----------------|
| 富岡町内 上水道 | ○ 一部使用開始 (令和4年3月) | 特定復興再生拠点の配水管復旧 | (R4年度内) |
| 富岡町内 工業用水道 | | | |
| 大熊町内 上水道 | ○ 一部使用開始 (令和3年12月) | 特定復興再生拠点（主に下野上地区）の配水管復旧 特定復興再生拠点（主に野上地区）の配水管復旧 | (R4年度内) |
| 大熊町内 上水道 | ○ 一部使用開始 (令和3年12月) | 特定復興再生拠点（主に小入野地区）の配水管復旧 | (R4年度内) |
| 大熊町内 工業用水道 | ▽ 未着手 | [送水] 未着手 | |
| 双葉町内 上水道 | ◎ 復旧済 (令和3年度) | 復興産業拠点（中野地区）への配水管路復旧 | (R3年度末) |
| 双葉町内 上水道 | ○ 一部使用開始 (令和4年1月) | 特定復興再生拠点[新市街地ゾーン]配水管路復旧 | (R4年度内) |
| 双葉町内 上水道 | ○ 一部使用開始 (令和4年1月) | 特定復興再生拠点[まちなか再生ゾーン]配水管路復旧 | (R4年度内) |

【凡例】◎：復旧済・機能回復済、○：復旧中・建設中、△：調査計画中、▽：未着手、—：該当なし、被災なし

双葉地方水道企業団のインフラ復旧状況（令和3年度末現在） ※帰還困難区域※

| 工 種 | 復旧の状況 | 内 容 | (参考) 事業完了時期 |
|---------------|----------|----------------|----------------|
| 富岡町内 上水道 | | | |
| 富岡町内 工業用水道 | | | |
| 大熊町内 上水道 | | | |
| 大熊町内 工業用水道 | | | |
| 双葉町内 上水道 | ◎ 復旧済 | [双葉 I C]への管路復旧 | (R 元年度末) |

【凡例】◎：復旧済・機能回復済、○：復旧中・建設中、△：調査計画中、▽：未着手、—：該当なし、被災なし

様式2「工程表」

インフラ復旧の工程表(道路)

令和4年3月末現在

●→ : 工程が早まるもの ●→ : 工程が遅くなるもの

| 事業 | 整備主体 | 被災/稼働状況 | R3年度の目標 (R3.9.10公表) | R3年度に実施 したこと(成果) | R4年度に実施 すること(目標) | R4年度 | | | R5年度 | | | R6年度 | | | R7年度以降 | 備考・ポイント等 | |
|-----------------|-------------|-------------------|----------------------------------|----------------------------------|----------------------------------|------|----|-----|------|----|----|------|----|----|--------|----------|---------------------|
| | | | | | | 4月 | 7月 | 10月 | 1月 | 4月 | 7月 | 10月 | 1月 | 4月 | | | 7月 |
| 道路の復旧 | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 常磐自動車道 | 東日本高速道路(株) | 平成27年3月1日に全線開通した。 | | | | | | | | | | | | | | | |
| 一般国道6号 | 国 | 平成25年度内に本復旧が完了した。 | | | | | | | | | | | | | | | |
| 県管理道路 川内村エリア | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 県道小野富岡線西ノ内工区 | 県(土木部) | - | 用地取得、工事推進 | 用地取得 工事着手 | 用地取得 工事推進 | ●→ | ●→ | ●→ | ●→ | ●→ | ●→ | ●→ | ●→ | ●→ | ●→ | ●→ | 第2期復興・創生期間での完了を目指す。 |
| 県道小野富岡線五枚沢1工区 | 県(土木部) | - | | | | | | | | | | | | | | | 平成30年度工事完了 |
| 県道小野富岡線五枚沢2工区 | 県(土木部) | - | 用地取得 工事着手 | 用地取得 工事着手 | 用地取得 工事推進 | ●→ | ●→ | ●→ | ●→ | ●→ | ●→ | ●→ | ●→ | ●→ | ●→ | ●→ | 第2期復興・創生期間での完了を目指す。 |
| 県道富岡大越線緊急現道対策 | 県(土木部) | - | | | | | | | | | | | | | | | 平成27年度工事完了 |
| 県管理道路 榑葉町エリア | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 県道小高上郡山線井出工区 | 県(土木部) | - | | | | | | | | | | | | | | | 平成30年度工事完了 |
| 県道35号いわき浪江線他4路線 | 県(土木部) | 路面陥没、路面亀裂、路面流出 | | | | | | | | | | | | | | | 平成29年度工事完了 |
| 県道広野小高線榑葉工区 | 県(土木部) | - | 工事推進 | 工事推進 | 工事推進 | ●→ | ●→ | ●→ | ●→ | ●→ | ●→ | ●→ | ●→ | ●→ | ●→ | ●→ | 2020年代初頭の完了を目指す。 |
| 県管理道路 田村市エリア | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 国道399号(掛札峠) | 県(土木部) | - | | | | | | | | | | | | | | | 平成28年度工事完了 |
| 国道288号 | 県(土木部) | 路面クラック | | | | | | | | | | | | | | | 工事完了 |
| 国道288号(船引バイパス) | 県(土木部) | - | 2工区: 用地取得、工事推進 3工区: 用地取得、工事推進 | 2工区: 用地取得、工事推進 3工区: 用地取得、工事推進 | 2工区: 用地取得、工事推進 3工区: 用地取得、工事推進 | ●→ | ●→ | ●→ | ●→ | ●→ | ●→ | ●→ | ●→ | ●→ | ●→ | ●→ | 第2期復興・創生期間での完了を目指す。 |
| 県道吉間田滝根線(広瀬工区) | 国 県(土木部) | - | (国)工事推進 (県)工事推進 | (国)工事推進 (県)工事推進 | (県)工事推進 | ●→ | ●→ | ●→ | ●→ | ●→ | ●→ | ●→ | ●→ | ●→ | ●→ | ●→ | 2020年代初頭の完了を目指す。 |

→ : 工程が見込めるもの
 ●.....→ : 工程が現時点で見込みにくいもの

| 事業 | 整備主体 | 被災/稼働状況 | R3年度の目標 (R3.9.10公表) | R3年度に実施 したこと(成果) | R4年度に実施 すること(目標) | R4年度 | | | R5年度 | | | R6年度 | | | R7年度以降 | 備考・ポイント等 |
|--------------------------------------|--------|----------------|------------------------|---------------------|---------------------|------|------|-----|------|----|----|------|----|----|--------|---------------------|
| | | | | | | 4月 | 7月 | 10月 | 1月 | 4月 | 7月 | 10月 | 1月 | 4月 | | |
| 県管理道路 大熊町エリア | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 国道288号 (野上小塚工区) | 県(土木部) | - | 工事推進 | 工事推進 | 工事完了、道路開通 | 工事推進 | | | | | | | | | | 2022(R4)年度完成予定 |
| 県管理道路 (帰還困難区域) 国道288号 他3路線 | 県(土木部) | 路面陥没、路面亀裂 | - | | | | | | | | | | | | | 工事完了 |
| 県道391号 広野小高線 (熊川工区) | 県(土木部) | - | 調査設計、用地取得、工事推進 | 調査設計、用地取得、工事推進 | 調査設計、工事推進 | 調査設計 | 用地取得 | | | | | | | | | 第2期復興・創生期間での完了を目指す。 |
| 県管理道路 南相馬市エリア | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 県道34号 相馬浪江線 他5路線(地震) | 県(土木部) | 路面亀裂など | | | | | | | | | | | | | | 工事完了 |
| 県道391号 広野小高線 (津波) | 県(土木部) | 路面流出など | | | | | | | | | | | | | | H30年度工事完了 |
| 県道255号 幾世橋小高線 他1路線(津波) | 県(土木部) | 路面流出など | | | | | | | | | | | | | | 工事完了 |
| 県道391号 広野小高線 (浪江小高工区) | 県(土木部) | - | 調査設計、用地取得、工事推進 | 調査設計、用地取得、工事推進 | 調査設計、用地取得、工事推進 | 調査設計 | 用地取得 | | | | | | | | | 第2期復興・創生期間での完了を目指す。 |
| 県道12号 原町川俣線 (下高平工区) | 県(土木部) | - | 調査設計推進 | 調査設計、事業説明会 | 調査設計、用地取得、工事推進 | 調査設計 | 用地取得 | | | | | | | | | 第2期復興・創生期間での完了を目指す。 |
| 県管理道路 飯館村エリア | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 国道399号 他3路線 (居住制限区域) | 県(土木部) | 路面亀裂 | | | | | | | | | | | | | | 工事完了 |
| 国道399号 他1路線 (帰還困難区域) | 県(土木部) | 路面亀裂 | | | | | | | | | | | | | | 工事完了 |
| 県管理道路 浪江町エリア | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 県管理道路 (津波被災地区) 長塚請戸浪江線 他1路線 | 県(土木部) | 路面陥没、路面亀裂、路面流出 | | | | | | | | | | | | | | 工事完了 |
| 県管理道路 (避難指示解除準備区域) 国道114号 他6路線 | 県(土木部) | 路面陥没、路面亀裂 | | | | | | | | | | | | | | 工事完了 |
| 県管理道路 (居住制限区域) 相馬浪江線 他1路線 | 県(土木部) | 路面陥没、路面亀裂 | | | | | | | | | | | | | | 工事完了 |
| 県管理道路 (帰還困難区域) 国道114号 他4路線 | 県(土木部) | 路面陥没、路面亀裂 | | | | | | | | | | | | | | 工事完了 |
| 国道114号 (浪江拡幅2工区) | 県(土木部) | - | - | | | | | | | | | | | | | 令和2年度完了。 |
| 国道114号 (柗平工区) | 県(土木部) | - | 用地取得、工事推進 | 調査設計、用地取得、工事推進 | 調査設計、用地取得、工事推進 | 調査設計 | 用地取得 | | | | | | | | | 第2期復興・創生期間での完了を目指す。 |

→ :工程が見込めるもの ●.....▶ :工程が現時点で見込みにくいもの

| 事業 | 整備主体 | 被災/稼働状況 | R3年度の目標 (R3.9.10公表) | R3年度に実施 したこと(成果) | R4年度に実施 すること(目標) | R4年度 | | | R5年度 | | | R6年度 | | | R7年度以降 | 備考・ポイント等 |
|---------------------------------------|--------|---------------------|----------------------------|---------------------|---------------------|-----------------|-----------------|-----------------|-----------------|-----------------|-----------------|-----------------|-----------------|-----------------|-----------------|----------------------|
| | | | | | | 4月 | 7月 | 10月 | 1月 | 4月 | 7月 | 10月 | 1月 | 4月 | | |
| 県道255号 幾世橋小高線 (北幾世橋工区) | 県(土木部) | — | 調査設計推進 | 調査設計推進 | 調査設計推進、用地取得 | ●.....▶ 調査設計 | ●.....▶ 用地取得 | ●.....▶ 用地取得 | ●.....▶ 調査設計 | ●.....▶ 用地取得 | ●.....▶ 調査設計 | ●.....▶ 用地取得 | ●.....▶ 調査設計 | ●.....▶ 用地取得 | ●.....▶ 調査設計 | 第2期復興・創生期間での完了を目標指す。 |
| 県道254号 長塚請戸浪江線 (幾世橋工区) | 県(土木部) | — | 調査設計推進 | 調査設計推進 | 調査設計推進、用地取得 | ●.....▶ 調査設計 | ●.....▶ 用地取得 | ●.....▶ 用地取得 | ●.....▶ 調査設計 | ●.....▶ 用地取得 | ●.....▶ 調査設計 | ●.....▶ 用地取得 | ●.....▶ 調査設計 | ●.....▶ 用地取得 | ●.....▶ 調査設計 | 第2期復興・創生期間での完了を目標指す。 |
| 県道120号 浪江鹿島線 (西台工区) | 県(土木部) | — | 調査設計、用地取得推進 | 調査設計推進 | 調査設計推進、用地取得 | ●.....▶ 調査設計 | ●.....▶ 用地取得 | ●.....▶ 用地取得 | ●.....▶ 調査設計 | ●.....▶ 用地取得 | ●.....▶ 調査設計 | ●.....▶ 用地取得 | ●.....▶ 調査設計 | ●.....▶ 用地取得 | ●.....▶ 調査設計 | 第2期復興・創生期間での完了を目標指す。 |
| 県道253号 落合浪江線 (高瀬工区) | 県(土木部) | — | 調査設計、用地取得、工事推進 | 調査設計推進(完了) | 側道橋下部工 | ●.....▶ 調査設計 | ●.....▶ 用地取得 | ●.....▶ 用地取得 | ●.....▶ 調査設計 | ●.....▶ 用地取得 | ●.....▶ 調査設計 | ●.....▶ 用地取得 | ●.....▶ 調査設計 | ●.....▶ 用地取得 | ●.....▶ 調査設計 | 第2期復興・創生期間での完了を目標指す。 |
| 県管理道路 (帰還困難区域・災害復旧) 落合浪江線 | 県(土木部) | 山腹崩壊、路肩崩壊、路面陥没、路面亀裂 | 災害復旧工事の進捗を図り、令和3年度の完成を目指す。 | 令和3年度復旧工事完了 | | ●.....▶ 調査設計 | ●.....▶ 用地取得 | ●.....▶ 用地取得 | ●.....▶ 調査設計 | ●.....▶ 用地取得 | ●.....▶ 調査設計 | ●.....▶ 用地取得 | ●.....▶ 調査設計 | ●.....▶ 用地取得 | ●.....▶ 調査設計 | 令和3年度工事完了 |
| 県管理道路 (帰還困難区域・災害防除) 落合浪江線 | 県(土木部) | 山腹崩壊、路肩崩壊、路面陥没、路面亀裂 | 災害防除工事の進捗を図る。 | 災害防除工事の進捗を図った。 | 災害防除工事の進捗を図る。 | ●.....▶ 工事 | 2020年代半ばまでの完成を目指す。 |
| 県管理道路 双葉町エリア | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 県管理道路 (避難指示解除準備区域) 長塚請戸浪江線 他1路線 | 県(土木部) | 路面陥没、路面亀裂 | 工事完了 | 工事完了 | 工事完了 | | | | | | | | | | | 令和3年度南磯坂工区工事完了 |
| 県管理道路 (帰還困難区域) 国道288号 他4路線 | 県(土木部) | 路面陥没、路面亀裂 | | | | | | | | | | | | | | 工事完了 |
| 県道井手長塚線 県道長塚請戸浪江線 長塚工区(双葉シンボル軸) | 県(土木部) | — | (一)井手長塚線 用地取得、工事推進 | (一)井手長塚線 用地取得、工事推進 | (一)井手長塚線 工事推進 | ●.....▶ 工事 | 第2期復興・創生期間での完了を目標指す。 |

→ :工程が見込めるもの ●.....→ :工程が現時点で見込みにくいもの

| 事業 | 整備主体 | 被災/稼働状況 | R3年度の目標 (R3.9.10公表) | R3年度に実施 したこと(成果) | R4年度に実施 すること(目標) | R5年度 | | | R6年度 | | | R7年度以降 | 備考・ポイント等 | |
|------------------------------------|--------|----------------|------------------------|---------------------|---------------------|------|----|-----|------|----|----|--------|----------|--------------------------|
| | | | | | | 4月 | 7月 | 10月 | 1月 | 4月 | 7月 | | | 10月 |
| 県管理道路 富岡町エリア | | | | | | | | | | | | | | |
| 県道小野富岡線 高津戸工区 | 県(土木部) | - | 用地取得完了 工事推進 | 用地取得、工事進捗 | 用地取得、工事進捗 | | | | | | | | | 第2期復興・創生期間での完了を目標 指す。 |
| 県道広野小高線 毛萱工区 | 県(土木部) | - | 工事推進 | 工事進捗 | 工事推進 | | | | | | | | | 2020年代初頭の完了を目標指す。 |
| 県道小良ヶ浜野上線 小良ヶ浜工区 | 県(土木部) | - | 調査設計推進 | 調査設計推進 | 調査設計推進 | | | | | | | | | 第2期復興・創生期間での完了を目標 指す。 |
| 県道富岡停車場線 小浜工区 | 県(土木部) | - | 調査設計推進 工事推進 | 調査設計推進 工事推進 | 調査設計推進 | | | | | | | | | 第2期復興・創生期間での完了を目標 指す。 |
| 県道35号いわき浪江線 他6路線 | 県(土木部) | 路面陥没、路面亀裂、路面流出 | | | | | | | | | | | | 工事完了 |
| 県管理道路 (帰還困難区域) | 県(土木部) | 路面陥没、路面亀裂、路面流出 | | | | | | | | | | | | 工事完了 |
| 県管理道路 川俣町エリア | | | | | | | | | | | | | | |
| 県管理道路 国道459号他2路線 | 県(土木部) | 舗装亀裂 | | | | | | | | | | | | 工事完了 |
| 県管理道路 国道114号 (小網木工区) | 県(土木部) | - | | | | | | | | | | | | 工事完了 |
| 県管理道路 国道114号 (山木屋1・2・3・交安工区) | 県(土木部) | - | 工事推進 | 工事推進 | 工事完了 | | | | | | | | | 2020年代初頭の完了を目標指す。 |
| 県管理道路 国道349号 (大網木工区) | 県(土木部) | - | 工事推進 | 工事推進 | 工事完了 | | | | | | | | | 2020年代初頭の完了を目標指す。 |
| 県管理道路 原町川保線 (飯坂工区) | 県(土木部) | - | 用地取得、工事推進 | 工事完了 | - | | | | | | | | | 工事完了 |
| 県管理道路 広野町エリア | | | | | | | | | | | | | | |
| 県道393号 上北泊下北泊線 他1路線(地震) | 県(土木部) | 地震による被災(道路) | | | | | | | | | | | | 工事完了 |
| 県道広野小高線 北迫工区1 | 県(土木部) | - | | | | | | | | | | | | 工事完了 |
| 県道広野小高線 北迫工区2 | 県(土木部) | - | | | | | | | | | | | | 工事完了 |
| 県管理道路 葛尾村エリア | | | | | | | | | | | | | | |
| 県管理道路 (帰還困難区域) | 県(土木部) | 路面陥没、路面亀裂 | | | | | | | | | | | | 工事完了 |
| 県道浪江三春線 小出谷・東ノ沢橋工区 | 県(土木部) | - | 測量設計推進 | 測量設計着手 | 測量設計推進 | | | | | | | | | 第2期復興・創生期間での完了を目標 指す。 |
| 県管理道路 いわき市エリア | | | | | | | | | | | | | | |
| 県道いわき上三坂小野線 小名浜道路 | 県(土木部) | - | 工事推進 | 工事推進 | 工事推進 | | | | | | | | | 第2期復興・創生期間での完了を目標 指す。 |

農業水利施設（広域）のインフラ復旧状況（令和 3 年度末現在）

| 工 種 | 復旧の状況 | 内 容 | (参考) 事業完了時期 |
|-----------------------|-------|---|---|
| 福島特別直轄災害復旧事業 請戸川地区 | ○ | [ダ ム]復旧済 1 箇所／被災 1 箇所 [頭首工]復旧済 2 箇所／被災 5 箇所 [用水路]復旧済 19 路線／被災 20 路線 | 避難指示区域の解除に伴い、段階的に変更追加。平成 31 年 3 月に双葉町内施設の復旧を変更追加。令和 6 年 3 月に事業完了予定。 |
| 直轄特定災害復旧事業 南相馬地区 | ◎ | [排水機場]復旧済 8 箇所／被災 8 箇所 ※ポンプ本格稼働を復旧済として記載。 [排 水 路]復旧済 3 路線／被災 3 路線 | R3.3 |

【凡例】◎：復旧済・機能回復済、○：復旧中・建設中、△：調査計画中、▽：未着手、—：該当なし、被災なし